

2025 年度

事業報告書

および

活動報告書

2025 年(令和 7 年)4 月 1 日～2026 年(令和 8 年)3 月 31 日



社会福祉法人けやき福祉会



X: @keyakiall1



Instagram: keyakifukushikai2024

(目次)

【Ⅰ】法人全体

1. 法人総括.....1

2. 総務課

 (1) 総括.....4

 (2) 研修一覧.....5

 (3) 振り返り.....6

3. 虐待防止.....9

【Ⅱ】支援課

1. SG 会議.....11

2. けやきの家の概要

 (1) 総括.....13

 (2) 体制等.....20

 (3) ヒヤリハット、事故報告まとめ.....21

3. 輪来工房の概要

 (1) 総括.....27

 (2) 体制等.....31

 (3) ヒヤリハット、事故報告まとめ.....32

4. 第1 けやきホームの概要

 (1) 総括.....37

 (2) 体制等.....39

 (3) ヒヤリハット、事故報告まとめ.....41

 (4) 会議、研修一覧.....44

 (5) その他(にっこりホット).....45

5. れすばの概要

 (1) 総括.....48

 (2) 体制.....49

 (3) ヒヤリハット、事故報告まとめ.....56

 (4) 会議、研修一覧.....57

6. れすば～さくら館の概要

 (1) 総括.....58

 (2) 体制等.....59

 (3) ヒヤリハット、事故報告まとめ.....60

 (4) 会議、研修一覧.....60

 (5) その他(自己評価表).....61

7. れすば 24 の概要.....64

【Ⅲ】令和 6 年度 会計報告

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表

2025 年度 けやき福祉社会事業報告

【Ⅰ】法人全体

1. 法人総括

(1)法人の組織体制図の見直し

本部・総務課・支援課としました。

常に法人全体を把握し、これからの未来の法人の在り方を考え、中長期の計画をたてる「本部」、コンプライアンスを重視し事務全般を司る「総務課」、利用者に寄り添いより良い支援を考え、資質向上を目指す「支援課」、これらを目的として新たに編成しました。

(2)大規模修繕

あと数年で 30 年を迎える「けやきの家」の大規模修繕について話し合いを行いました。

(3)本部体制:総務課、支援課と協力体制を取り組織を支えていく

①虐待防止・身体拘束適正化研修

2025 年 7 月 5 日に全スタッフを対象として、日本福祉大学教授・社会福祉法人睦月会理事長の綿祐二氏を講師としてお招きし、虐待防止・身体拘束の理解を深めました。

今回は広い会場でゆったりと聴講することもでき、昨年同様グループワークも取り入れていただきわかりやすい講義となりました。次年度も引き続き講義依頼を行う予定です。

②職場環境

IT を使い「ストレスチェック」を行いました。昨年とは違う高ストレス者が見受けられ、希望者には面談を行いました。

③各種会議の開催

理事長を交えた本部会議と、各課長との連携を持った会議を行いました。

④各種アンケートの実施

サービス評価基準、虐待防止、社会人基礎力・自己評価チェックにかかるアンケートを行いました。(資料別紙)尚、今年度は昨年の全体研修でスタッフから出た意見をもとにアンケートを作成しました。

⑤法人及び関係各所からの表彰

前年に引き続き、法人の永年勤続表彰や、愛知県社協からの表彰等の手続きを行いました。また、法人独自のスタッフ紹介制度により該当するスタッフを表彰しました。

⑥法人全体会議及び研修の開催

今年度は 7 月と 2 月に開催しました。7 月は車に乗る業務に携わっている方、通勤等で車を使用されている方など、勤務で利用者、スタッフを乗せる可能性のある方を対象に「安全運転講習」を内部研修としました。更に 2 月には業務継続計画・感染症(BCP)等内部研修として開催しました。尚 2 月は 2 部制にし、グループワークも交えて行いました。また、総務課より全職員にかかる情報通知等も行いました。

(4)助成・寄付関係

①寄付金に関する事項	
受入先	金額
法人本部	¥ 1,090,000（3 件）
第 1 けやきホーム	¥ 10,000（1 件）
輪来工房	¥ 3,000（1 件）
けやきの家	¥ 9,600（1 件）
合計	¥ 1,112,600（6 件）

(5)その他

- ①各種規程類の改正
 - ・「給与規程」の改正
 - ・「業務管理体制整備規程」の改正

2025年度（令和7）年度評議員会

開催年月日	出席者	定数	決議事項	理事出席者
R7.6.27	5	7	第1号議案 令和6年度事業報告(案)の審議・承認 第2号議案 多胎児支援れすばの返上についての審議・承認 第3号議案 令和6年度会計報告(案) の審議・承認 第4号議案 役員の改選 第5号議案 役員・評議員の報酬規程の一部改正について 第6号議案 定款の改正	山縣紀子 薮下公紀 穂積秀爾
R7.10.20	5	7	第1号議案 理事変更について審議・承認 第2号議案 細木町（れすば～さくら館）の寄附について審議・承認	山縣紀子 薮下公紀
R7.12.25	4	7	第1号議案 れすば管理者交代について 第2号議案 本部長の交代について 第3号議案 業務管理体制整備規程変更について 第4号議案 給与規程等改訂について 第5号議案 定款変更届について 第6号議案 運営規程の変更	山縣紀子 児野美紀
R8.3.27	4	7	第1号議案 令和7年度補正予算(案)について 第2号議案 令和8年度事業計画(案) について 第3号議案 令和8年度当初予算(案) について 第4号議案 けやきの家修繕について（加賀設計士推薦審議承認） 第5号議案 給与規程の改正について 第6号議案 れすば管理者交代について	山縣紀子 薮下公紀 児野美紀

2025年度（令和7）年度理事会

開催年月日	出席者	定数	決議事項	監事出席者
R7.6.10	6	6	第1号議案 令和6年度事業報告(案)について 第2号議案 多胎児支援れすばの返上についての審議・承認 第3号議案 令和6年度会計報告(案) について 第4号議案 評議委員の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催 第5号議案 定款の改正について 第6号議案 定時評議員会の招集	花井謙造 小林 進
R7.7.7	4	6	第1号議案 新理事長の選任について	小林進
R7.10.3	4	6	第1号議案 理事変更について審議・承認 第2号議案 細木町（れすば～さくら館）の寄附について審議・承認 第3号議案 定時評議員の招集について	花井謙造 小林 進
R7.12.16	5	6	第1号議案 れすば管理者交代について 第2号議案 本部長の交代について 第3号議案 業務管理体制整備規程変更について 第4号議案 給与規程等改訂について 第5号議案 運営規程の変更 第6号議案 定款変更について	花井謙造 小林 進
R8.3.17	5	6	第1号議案 令和7年度補正予算(案)について 第2号議案 令和8年度事業計画(案) について 第3号議案 令和8年度当初予算(案) について 第4号議案 けやきの家修繕について（加賀設計士推薦審議承認） 第5号議案 給与規程の改正について 第6号議案 れすば管理者交代について	花井謙造 小林 進

2. 総務課

(1) 総括

2025 年度に管理部から総務課へと変わりました。今一度コンプライアンスとは？行っている業務とは？を改めて考える 1 年だったのではと考えます。人事・経理・庶務すべてを総務課スタッフで行っています。支援と兼務しているスタッフもあり、全員が揃っての打ち合わせも難しいですが、昨年度より取り組んでいる新しいツールを利用し、スケジュール管理や情報の共有を図っています。私たちは良い支援へと繋げていくように研修や物資の在庫切れなど無いように行ってきました。行政へ提出する煩雑な書類も電子化が著しく日々確認・相談し進めて来ました。情報漏洩やコンプライアンスに非常に厳しくなっている現在に合った職場作りを更に考えて行きたいと思っています。

総務課 課長

昨年に引き続き、グループウェア (NI collabo) の導入に伴っての業務効率化を主軸に、スタッフの勤務実績の確認や書類の整理などの業務に従事してきました。また、業務効率の新たな試みとして、Web サイトの刷新と法人独自のメールアドレスの取得についてのプロジェクトにも、微力ながら協力させていただいています。

常勤 スタッフ

総務課(旧管理部) 会議

開催月	会議名	内容
6月	事務会議	今後の業務について
8月	事務会議	NIコラボやラインワークスを使用した連絡方法について
11月	事務会議	新体制について
2月	全体会議	2025年度総括

(2)研修一覧

2025年度研修一覧

研修名	実施日	場所	所属
ホーム全体会議 第1回	2025.4.17	坂下公民館	ホーム
年間計画・報連相・個人目標	2025.4.21	れすば	れすば
行政手続きについて	2025.4	さくら館	さくら館
危険察知トレーニング	2025.5.19	れすば	れすば
支援プログラムについて	2025.5	さくら館	さくら館
労働実務基礎講座	2025.6.10	名古屋市東区	管理部
福祉有償運送講習	2025.6.11	NPO法人一宮まごごろ	輪来工房
熱中症・食中毒	2025.6.16	れすば	れすば
令和七年度社会保険制度説明会	2025.6.17	春日井市文化フォーラム	本部・管理部
日中支援型グループホーム見学会&セミナー	2025.6.27	岐阜市茜	ホーム・本部
排泄について	2025.6	さくら館	さくら館
障がい者虐待防止研修	2025.7.22	春日井市総合福祉センター	れすば
障がい者虐待防止（講師：綿裕二先生）	2025.7.23	東部市民センター	全職員
安全運転講習	2025.7.23	東部市民センター	全職員
行動援護従業者養成研修	2025.7.10他	れすば	れすば
実務者研修	2025.8.1他	春緑苑	ホーム・輪来
B C P 感染対策および災害 B C P	2025.8.18	れすば	れすば
安全運転管理者講習会	2025.9.1	オンライン	れすば
避難訓練	2025.9.8	れすば	れすば
安全運転管理者講習会	2025.9.10	春日井市民会館	けやきの家・輪来
アレルギーについて	2025.9	さくら館	さくら館
障害者（児）福祉関係職員基礎研修	2025.10.15	名古屋市東区	けやきの家・輪来工房
ホーム全体会議 第2回	2025.10.16	坂下公民館	ホームスタッフ全員
ケース会議 1	2025.10.20	れすば	れすば
キャリアパス 中堅職員研修	2025.10.21他	愛知県社会福祉会館	輪来工房
キャリアパス 中堅職員研修	2025.10.28他	愛知県社会福祉会館	輪来工房
学習障害について	2025.10	さくら館	さくら館
安全運転講習 1	2025.11.17	れすば	れすば
キャリアパス 中堅職員研修	2025.11.21他	愛知県社会福祉会館	ホーム
キャリアパス 初任者職員研修	2025.11.26他	愛知県社会福祉会館	けやきの家
キャリアパス 初任者職員研修	2025.11.26他	愛知県社会福祉会館	さくら館
療育について	2025.11	さくら館	さくら館
キャリアパス 初任者職員研修	2025.12.3他	愛知県社会福祉会館	けやきの家
救命救急講習	2025.12.7	レディヤン春日井	れすば・ホーム
甲種防火管理講習	2025.12.4他	グリーンバレス春日井	けやきの家
感染症の基礎知識	2025.12.22	れすば	感染対策委員
コミュニケーション基礎研修	2025.12.4他	れすば/オンライン	ホーム
救命救急講習	2025.12	消防署	ホーム・れすば・さくら館
ケース会議会議 2	2026.1.19	れすば	れすば
正しい会計処理・決算実務のポイント	2026.1.14	れすば/オンライン	本部・総務課
監事専門講座	2026.1.20他	れすば/オンライン	本部・総務課
社会福祉連会推進シンポジウム20226	2026.1.23	れすば/オンライン	本部・総務課
感覚統合療法について	2026.1	さくら館	さくら館
理事長講話 本年度は3回実施	2026.2.4他	坂下公民館	新規職員
			事務職員
安全運転講習 2	2026.2.9	れすば	れすば
全体会議にて感染他研修	2026.2.18	坂下公民館	全職員
事業所交流会	2026.2	総合福祉センター	さくら館
行動援護従業者養成研修	2026.3.3他	未来カレッジ名古屋校	ホーム
グループホームの利用者支援の実践報告会からみんなで課題を共有しよう	2026.3.3	レディヤン春日井	ホーム
卒業後の進路について	2026.3	さくら館	さくら館
年度まとめ ヒヤリハット	2026.3.9	れすば	れすば

(3) 振り返り

【2025年度のふりかえり 集計結果】

92名にて集計

	質問項目	質問項目の回答について	回答	計	割合					
1	2026年度の けやき福祉会の 活動指針を言えますか？	⇒2026年度法人目標は 「安心・安全の支援を通じて、安定した事業所運営に つなげよう」	記入有	88	95.7%	(うち正答率)	85件	96.6%		
			未回答	4	4.3%					
2	2026年度のご自身の 所属する事業所の 活動指針は何でしょう？ (複数兼務している方は すべて)	●けやきの家「伝える・伝わる継続的な話し合いと 利用者の事を知ろう」 ●輪来工房「ともにチャレンジ、成長しよう」 ●第1けやきホーム「見守るやさしさと動く勇氣で、 可能性を共に育てる」 ●れすぽ「準備・確認を忘れず利用者としっかり 向き合い、いろんなことにチャレンジしよう」 ●れすぽ～さくら館 「子ども達それぞれの個性を尊重しよう」 ●総務課「総務課スタッフとして報道相を率先して行おう」	記入有	90	97.8%	(うち正答率)	88件	97.8%		
			未回答	2	2.2%					
3	スマート大臣の マイポータルから 給与明細を 確認していますか？		「はい」	83	90.2%	あまり気にしていない		毎回QRコードで読みとってます。 アプリがうまく入らなかった為		
			「いいえ」	8	8.7%	ID、パスワードの確認が面倒なので		スマート大臣のアプリが入ってません		
			未回答	1	1.1%					
4	有休取得時の 『届出』は、期日を守って 『管理者』に提出して いますか？		「はい」	83	90.2%	有休届を出すのが 遅くなることがあった	シフトが分かった時点ですぐ 提出はしていなかったです。 毎回、数日後に提出していた ので、改めます。	有休の使い方がわかって いなく使ったことないです	有休がないため	
			「いいえ」	9	9.8%	時々、忘れる	まだ有休取得を したことがないため	有休取得権を まだ得てません	有給がないので。	
5	『届出』等ピンクファイルが、 今年度に変更更新した ことを知っていますか？		「はい」	70	76.0%	入社したばかりで確認していません、後日確認します。		届出ピンクファイルの事知らないです		
			「いいえ」	19	20.7%	明確に答えられないので、確認不足です。		年休届出書の 更新は知っている。	よく見ていなかった	
						まだ途中のため		聞き迷ったか 覚えていなかった	気づきませんでした	2025年5月入職のため
						利用したことがない		書類を書かなかったから	届出をしていませんでした	一部旧を 使用した事があります。
6	けやき福祉会の XとInstagramの 投稿内容を 見えていますか？		「見ている」	48	52.1%					
			「見ていない」	18	19.6%					
			「使っていない」	24	26.1%					
			「その他」	1	1.1%					
			未回答	1	1.1%					
7	スタッフ紹介の紹介制度を 利用して、紹介してみたい お知り合いの方は いますか？		はい	5	5.4%					
			いいえ	84	91.3%					
			未回答	3	3.3%					
8	けやき福祉会の理念 3つを言えますか？	一、障がいを持つ人達が人間として尊重され、 生き生きと生活できるような地域社会を築く努力をします。 一、障がいを持つ人達が真に必要なとする援助体制を 作り上げる努力をします。 一、民主的な運営、地域社会に開かれた経営に努力します。	記入有	88	95.7%	(うち正答率)	87	98.9%		
			未回答	4	4.3%					
9	職員の倫理綱領の 項目 9つ言えますか？	第1項 個人の尊厳 第2項 自己選択・自己決定の尊重 第3項 プライバシーの保護 第4項 財産権の尊重 第5項 個人情報保護の基本方針の遵守 第6項 地域社会との関係 第7項 職員の専門性 第8項 サービスの点検 第9項 家族との関係	記入有	90	97.8%	(うち正答率)	89	98.9%		
			未回答	2	2.2%					

【2025年度 基礎力チェック 集計結果】

87名にて集計(事務員5名を除く)

	質問項目	回答	計	割合	回答内容の理由について													
1	家族とのやり取りから、利用者に関する正しい情報を聞き取ることができる	○	67	77.0%	家族との接点がない	家族とのやり取りの機会がない	できる人とまったくできない人がある	家族とあまり話す機会が無い	家族とは間接的にしか接していない	家族との接点が少ない	やり取りの場面が少ない	家族とあまり接する機会がない	対象外					
		△	17	19.5%	週末の迎え時に親と会わないので、直に情報を得られていない。		ノートでのやりとりはありますが、お話すことは余りないため。		利用者様の家族と接する時がなかったため		全ての利用者さん家族とお話できていない。		家族とのやりとりを接することなく					
		×	3	3.5%	モニタリングや限られた場面でお逢いした時に自身から情報を引き出せていない		家族とやりとりする場面はあまり無い		休日の過ごし方を迎え時にきく程度		家族とは挨拶・伝言程度のため詳しく知らない		ご家族様との接触がないので					
		回答無	0	0.0%														
2	利用者本人の特性を知っている (好きなこと、苦手なこと、健康状態など)	○	70	80.5%	モニタリング、アセスメントの更新をしっかりと行う	スタッフ間の話・共有程度しか知らない	まだまだ細かな部分は把握ができていない	個人ファイル等に改めて目を通してみる	利用者全ての人について知らない	大まかに知ることができている程度	わからない部分もある	対象外	苦手なこと好きなことをまだ知らない					
		△	16	18.4%	自分では分かっているつもりです		新しい利用者の事は、まだ理解できていない所あり		かかわりの少ない利用者さんは知らないこともありです。		接する利用者さんが偏っているので、好きなことが変わったりすると分らず他スタッフにきくことがある		なんとなくわかっているが、すべてを知っているわけではないため	変わっている部分もあるため、すべてを把握している訳ではない。				
		×	1	1.1%														
		回答無	0	0.0%														
3	寄り添う支援を通して、利用者にも自分を知ってもらい互いに理解しあうことができる	○	72	82.8%	自分の事を話すが、話し方(伝え方)が伝わっているのか努力はしています		理解して頂けるよう利用者さんに合った支援を探しながらです。		利用者様に自分がどれだけ知ってもらえているか不明		出来てと思うが利用者様に理解してもらえるかな		相手が理解しているかは不明					
		△	14	16.1%	自分を知ってもらえているか、互いの理解…まだ自信がないところがあります		自分を知ってもらうということではできていない		互いに理解しあえていない時もあります		理解してもらえるよう努力している		対象外	まだ全員と出来ていない				
		×	1	1.1%														
		回答無	0	0.0%														
4	利用者の声や話に耳を傾け、しっかりと聞くことができる	○	76	87.4%	聞くことに心がけていても、理解にまで至らないこともあります。				業務優先しないといけない時がある(看護)		意識はしているが、時間に追われて誘導してしまうこともある		努力している					
		△	11	12.6%														
		×	0	0.0%	時間の制限にとらわれがち		耳を傾けるが意味わからない時がある		まだ上手く聞き取れない為		できる範囲が少ない		努力はしている					
		回答無	0	0.0%														
5	出来ない！決めつけず、「～かも」を意識して対応することができる	○	82	94.3%	制約により難しい				まだまだ決めつけてしまう時がある									
		△	5	5.7%														
		×	0	0.0%	いつものように対応してしまう													
		回答無	0	0.0%														
6	利用者のペースに合わせて行動することができる	○	75	86.2%	取組時間や送迎時間の関係で急かしてしまう事がある		迎えの時間が早かったりするとペースを崩さざるおえない。		時間が無い時などいそがせてしまうことがある。		時間がない時は動いて頂いている		制約により難しい					
		△	11	12.6%	朝の出発準備の時は、ついせかしがちの声かけをしてしまう		朝や散歩など時間が絡むもの△		時として急な対応の場合		取りくみの流れと利用者さんのペースが離れすぎてしまう時は、促すこともあります。							
		×	0	0.0%														
		回答無	1	1.2%														
7	利用者自身でできることはやってもらうよう、一緒にチャレンジすることができる	○	83	95.4%	時間が絡むと△				対象外									
		△	3	3.4%														
		×	1	1.2%	時間の制約があったり、危険回避があったりする													
		回答無	0	0.0%														
8	物事の判断を、利用者が自分の意思で決められるように、支援することができる	○	77	88.5%	心がけてはいます		努力している		意思決定の表情など読みとれない場面がある		物事の判断は難しい。良いこと、悪いことは時によって都合良くなることもある。意思決定でできる内容であれば利用者さんの意思決定を促す。							
		△	9	10.3%														
		×	1	1.2%	対象外		時間が絡むと△		意識はしているが、時間に追われて誘導してしまうこともある		自己決定がしづらい方に対し、うまくできているかは自信をもていません…。							
		回答無	0	0.0%														
9	利用者に笑顔で接するよう心掛けている	○	86	98.9%	忙しい時は不明													
		△	1	1.1%														
		×	0	0.0%														
		回答無	0	0.0%														
10	時間を共有し、共に楽しみを見つけることができる	○	81	93.1%	個々の時間を過ごされている時の介入がうまくできていないと思う			対象外			自分の楽しみを押し出す時もある							
		△	5	5.7%														
		×	1	1.2%	1人1人の介助量が増えているため、楽しみの時間はもちにくい。			利用者さんが本当に楽しめているか自信を持っていないこともあります…。										
		回答無	0	0.0%														
11	「ありがとう」や「上手だね」など、利用者の行動と気持ちに寄り添う声かけができる	○	87	100.0%														
		△	0	0.0%														
		×	0	0.0%														
		回答無	0	0.0%														
12	注意しなければならないときには、分かりやすくメリハリをつけて声かけしている	○	78	89.7%	利用者によって違うので難しい			分かりやすいの部分で、まだ自分はいまいな注意になっている			適切な声かけなのか迷ったり、分かりやすく行えているのかどうか、わかりません。							
		△	9	10.3%														
		×	0	0.0%	メリハリがあいまいな時があるため。			メリハリをつけてが難しい			それはダメ！とわかりやすく説明するよう							
		回答無	0	0.0%														
13	話しかけるときは、利用者の目を見て話している	○	86	98.9%	必ずしも目を合わせない方がよい方もいる													
		△	1	1.1%														
		×	0	0.0%														
		回答無	0	0.0%														
14	「待つ」という時間を大切にしている	○	75	86.2%	心がけるようにはしていますが…		待つを大切にしたいが、予定によってはそれが難しい。		時間が迫っている時に、「急ぎましょう」と言ってしまうている		自分のせっかちな部分が出てしまっている		時間の制限にとらわれがち		制約がある			
		△	10	11.5%														
		×	2	2.3%	利用者が自分から挑戦してくれます。		相手に時間をかけるのは必要と思う		本人の状況を考えて急がせる場面もある		最近ほぼ出来ているがたまに出来ない時がある		時間が絡むと△		もどかしく、つつい手を貰ってしまうことがある			
		回答無	0	0.0%														

	質問項目	回答	計	割合	回答内容の理由について					
15	常に穏やかな気持ちを保ちながら支援に従事することができる	○	70	80.5%	イラっとした時、顔に出ます	急ぐ時、口調がきつくなることはあった	余裕をもちたいが、精神的な疲れがあると難しい。	顔は笑っても心が乱れる時もある	忙しい時は不明	早朝などはたまにイライラすることもある
		△	16	18.4%	連勤で宿直時は寝不足の際に穏やかではない事もある。	その利用者にそのような特性があることを改めて理解する。	同じ行動や言動が続くとイラとする	常に穏やかでいたいが、時間が足りないともう時間がないと伝えるのに穏やかな表情ではないかもしれない。	心にゆとりがない時があり、そうならないように気持ちを保つように気をつけます	
		×	1	1.1%	時には自分の我が出る時がある	自分の体調により、声掛けが少なくなる	常に穏やかではいられない	意識はしているが、理不尽な事が続くと、イライラしてしまう事もある	利用児同士でケンカばかりだと、こちらもカリカリしてしまうこともあります	
		回答無	0	0.0%						
16	清潔で安全安心な居場所作りを心がけることができる	○	87	100.0%						
		△	0	0.0%						
		×	0	0.0%						
		回答無	0	0.0%						
17	利用者の身だしなみに気を配ることができる	○	86	98.9%	対象外					
		△	0	0.0%						
		×	1	1.1%						
		回答無	0	0.0%						
18	利用者とともに、障害があっても社会のモラルを守る支援をすることができる	○	83	95.4%	モラルを守って頂く支援の際に、強く抵抗される時は様子をみることもあります。			？		
		△	3	3.4%						
		×	0	0.0%	社会のモラルをどう利用者さんに伝えるか悩む。			対象外		
		回答無	1	1.2%						
19	利用者のペースを守り、やりすぎない支援を心がけている	○	77	88.5%	つい声かけや手出しをしてしまう時がある。	スタッフ都合で動くことがある	やりすぎてしまっている時があるかもです。	制約がある	おもわず手を出し助けてしまう	たまに手を貸す時がある
		△	10	11.5%	時にはやりすぎないといけない場面が出てきている。(着がえとか)	時間がない時に自分がやってしまったり、急がせることがある	利用者さんの行動の先を読みすぎてしまう事がある	もどかしく、ついつい手を貸してしまうことがある		
		×	0	0.0%						
		回答無	0	0.0%						
20	スタッフの都合ではなく、利用者中心の支援を心がけている	○	81	93.1%	全てはできていない		忙しいとスタッフの都合になってしまう時がある		スタッフ都合で動くことがある	
		△	6	6.9%						
		×	0	0.0%	もどかしく、ついつい手を貸してしまうことがある			時間がない時に自分がやってしまったり、急がせることがある		
		回答無	0	0.0%						
21	スタッフ間の情報共有や連携はもれなくできている	○	62	71.3%	情報共有出来てる事もあれば出来てない事も多くある	サー提としての共有することの意識づけ	もれなくはわからないが、会費でも最近では利用者さんの様子を共有している。	報、連、相ができていないです	反省会の時間に送迎に出ており、知らない情報もある	時々、情報共有されていないことがある。
		△	21	24.1%	共有する時間がないことが多い	たまに忘れる	もれなくできているかと言えばできていない。細かなチェックができていないので気をつけます	情報共有ができていない時がある。	なかなか情報が届かない	接触の機会が少ない
		×	4	4.6%	職種の都合上、共有できない	自分の勤務以外の情報が共有できていない時があるので、連絡帳にも目を通す	一部欠ける時がある	時々、できていない	支援の行い方に変更があっても、共有がなされていない時があります。	もれなくできていないと思う
		回答無	0	0.0%	その場にいなかったり、過去の事で知ったりある為、利用者さんに関して、自分で聞いたり確認している。	タイミングが難しいことがあります。	もらった情報は伝えるようにしていますが、必要な全員に広がっているかは？です	出ていない所もある	たまに忘れる事がある	連絡ツールを上手に活用できていない
22	利用者との適度な距離感を保ち、対応することができる	○	84	96.6%	できていると思うが判断が難しい					
		△	3	3.4%						
		×	0	0.0%						
		回答無	0	0.0%						
23	不適切な言葉を使わないことや乱暴な態度をとらないことを心がけている	○	85	97.7%	時々、丁ねい語を使わない時がある			とても心がけてはいますが私自身が態度に出してしまっている		
		△	2	2.3%						
		×	0	0.0%						
		回答無	0	0.0%						

3. 虐待防止

【管理者】2025年度 虐待防止チェックリスト 回答 7名にて集計

		質問項目	回答	項目計	割合	記入コメント等
規程、マニュアルや チェックリスト等の整備	1	倫理綱領、職員行動規範を定め、 職員への周知ができている	ある	6	85.7%	
			ない	1	14.3%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	虐待防止マニュアルやチェックリスト等について、 職員に周知徹底すると共に活用している	ある	6	85.7%	
			ない	1	14.3%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	緊急やむを得ない場合の身体的拘束等の手続き、 方法を明確にし、利用者や家族に事前に説明を行い、 同意を得ている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	4	個別支援計画を作成し、適切な支援を実施している	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	5	利用者の家族から情報開示を求められた場合は、 いつでも応じられるようにしている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
風通しの良い職場環境づくり と 職員体制	1	職員会議等で情報の共有と職員間の 意思疎通が図られている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	上司や職員間のコミュニケーションが図られている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	適正な職員配置ができている	ある	6	85.7%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	1	14.3%	
職員への意識啓発 と 職場研修の実施	1	職員への人権等の意識啓発が行われている	ある	6	85.7%	
			ない	1	14.3%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	職場での人権研修等が開催されている	ある	6	85.7%	
			ない	1	14.3%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	職員の自己研さんの場が設けられている	ある	5	71.4%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	2	28.6%	
利用者の家族との連携	1	利用者の家族等と定期的に連絡調整が図られている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	利用者の家族と支援目的が共有できている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	職員として利用者の家族から信頼を得られている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
外部からのチェック	1	事業所の監査において、 虐待防止に関わるチェック等を実施している	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	地域ボランティアの受け入れを積極的に行っている	ある	4	57.1%	ホームではない。
			ない	3	42.9%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	実習生の受け入れや職場見学を随時受け付けている	ある	4	57.1%	ホームではない。
			ない	3	42.9%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
苦情、虐待事案への 対応等の体制整備	1	虐待防止に関する責任者を定めている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2	虐待防止や権利擁護に関する委員会を 法人又は事業所内に設置している	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3	職員の悩みを相談できる相談体制を整えている	ある	7	100.0%	
			ない	0	0.0%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	4	事業所内で虐待事案の発生時の対処方法、 再発防止策等を具体的に文章化している	ある	6	85.7%	
			ない	1	14.3%	
			どちらにもあてはまらない	0	0.0%	

【職員】2025年度 虐待防止チェックリスト 回答					SSJを含む93名にて集計
	質問項目	回答	計	割合	特記(記入コメント等)
利用者への体罰など	1 利用者に対して殴る、ける、その他けがをさせるような行為を行ったことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	シートベルト
	2 利用者に対して、身体的拘束や長時間正座・直立等の肉体的苦痛を与えたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	1 0 92 0	1.1% 0.0% 98.9% 0.0%	
	3 利用者に対して、食事を抜くなどの人間の基本的欲求に関わる罰を与えたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	4 利用者に対して、自分の意思で開けることのできない居室・車等に隔離したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	5 利用者に対する他の職員の体罰を容認したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 1 91 1	0.0% 1.1% 97.8% 1.1%	
利用者への差別	1 利用者を子ども扱いするなど、その人の年齢にふさわしくない接し方をしたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	2 11 80 0	2.2% 11.8% 86.0% 0.0%	
	2 利用者の障がいの程度、状態、能力、性、年齢等で差別したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	3 障がいにより克服困難なことを、利用者本人の責めに帰すような発言をしたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	4 利用者の言葉や歩き方等の真似をしたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 12 81 0	0.0% 12.9% 87.1% 0.0%	
	5 利用者の行為を嘲笑したり、興味本位で接したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 1 92 0	0.0% 1.1% 98.9% 0.0%	
利用者に対する プライバシーの侵害	1 職務上知り得た利用者個人の情報を他に漏らしたことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	2 利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物等の開封、所持品を確認したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 1 92 0	0.0% 1.1% 98.9% 0.0%	
	3 利用者の了解を得ずに居室、寝室、トイレの個室等に入ったことがある	ある 時々ある ない 記入なし	1 7 85 0	1.1% 7.5% 91.4% 0.0%	
	4 a(男性職員が)女性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄、生理等の介助を他に頼める女性スタッフがいるのに、したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 71 22	0.0% 0.0% 76.3% 23.7%	看護行為として
	4 b(女性職員が)男性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の介助を他に頼める男性スタッフがいるのに、したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 2 74 17	0.0% 2.1% 79.6% 18.3%	
	5 利用者本人や家族の了承を得ずに、本人の写真や制作した作品を展示したことがある	よくある 時々ある ない 記入なし	0 2 91 0	0.0% 2.2% 97.8% 0.0%	
利用者の人格無視	1 利用者呼び捨てやあだ名、子どものような呼称で呼んだことがある	ある 時々ある ない 記入なし	2 22 69 0	2.1% 23.7% 74.2% 0.0%	ちゃん付 ちゃんよび
	2 利用者に対して、威圧的な態度や命令口調で話したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 11 82 0	0.0% 11.8% 88.2% 0.0%	
	3 利用者の訴えに対して、無視や拒否をするような行為をしたことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 8 85 0	0.0% 8.6% 91.4% 0.0%	運転中やむをえない時
	4 利用者を長時間待たせたり、放置したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	5 担当専門医の指示によらず職員自らの判断で薬を使用したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	6 まだ十分にトイレで対応できる利用者にもオムツ対応したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 92 1	0.0% 0.0% 98.9% 1.1%	
利用者への強要制限	1 利用者に対して、わいせつな発言や行為をしたことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	2 利用者の作業諸活動や取り組み、余暇活動に対して、いたずらにノルマを課したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	3 利用者に嫌悪感を抱かせるような取り組み・外出先などを強要したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	4 日用品等の購入を制限したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	5 無理やり食べ物や飲み物を口に入れたことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	
	6 自由な帰省、面会、外出を一方的に制限したことがある	ある 時々ある ない 記入なし	0 0 93 0	0.0% 0.0% 100.0% 0.0%	

【Ⅱ】支援課

1. SG 会議

今年度は、前回の全体会議で行った研修をピックアップしけやき福祉会の「強み」について会議で話を深めました。

各事業所の「強み」——れすば「スタッフ利用者情報・支援中の様子等を自ら共有し支援に活かしている」グループホーム「スタッフが利用者と一緒に楽しみ、本人が本人らしく過ごせる雰囲気作り」輪来工房「元気な利用者が多い中、走って守る事が出来ている」けやきの家「利用者の為に、をスタッフが考え、発信できている」さくら館「利用者が好きなモノ・コトを考え・感じ、準備・提案できる」各事業所の「色」が出せているように感じました。この強みを活かし、実践報告会を計画し、来年度への課題としました。また、実践報告会ではどのような話をするのか、各事業所の SG メンバーで話を行い、「総まとめのイメージが——」「1つの支援についての支援を報告するでは——」等の様々な意見を交わし、今後の実践報告会に向けてのイメージの共有をしました。

SGK 会議……身体拘束・虐待防止・業務継続計画・感染症まん延防止の総省

法人で行う訓練・研修の立案や、身体拘束・虐待委員会での会議、感染症対策まん延防止委員会、業務継続計画の見直しや委員会を定期的に重ね、各事業所への伝達や、全体会議での研修・訓練を共有しました。

「業務継続計画」

業務継続計画では、日頃から業務継続計画を見直す事で、最新の情報を元に正しく、万が一に備え、行動に移す事ができます。各事業所での避難訓練、通報訓練を定期的実施する事で危険に備え、利用者の安全・安心にも繋がると感じています。また、事業所毎での研修・訓練の年間実施回数が違う事もあり、各事業所に沿った研修・訓練を実施する事や、法人内で統一した研修・訓練を法人全体会議にて実施する事で、事業所毎に必要な備えや心構えができると感じました。今年度の法人内研修・訓練では、「緊急時の人の心理」について実施し、誰もが持つ正常性バイアスの理解や緊急時に正常性バイアスに打ち勝つ訓練を行いました。日頃から心の安心機能を自分自身で慣らす練習等スタッフ間での理解を深めました。

「感染症まん延防止」

感染症に関しては法人内でも過去にも「コロナ感染症」に法人内で苦しんだ過去もあります。大変苦労した経験から、日頃から感染症について、深く学ぶ必要があります。

感染症まん延防止委員会では、法人内で過去に起きた感染症について、改めて考察する事で、感染症の種類や、季節毎に罹患しやすい感染症等を委員会で共有し、各事業所に注意喚起を促す事で、常日頃から何に気を付け、どのような対応が必要か等を気軽にスタッフ間でも声掛けができ、法人内でのクラスターに備える事ができると感じました。今年度の法人内研修・訓練では、「感染症の基礎知識」について実施し、けやき福祉会で過去にあった感染症や、今後考えられる感染症についての学びを深めました。また、訓練として、感染症 BCP に基づき「コンタクトリスト」についての正しい流れ・手順の確認、実際に感染症の疑いがある利用者が出た場合、各事業所でどのような連絡体制で動かしていくのか等のディスカッションを行いました。その中で、連絡先が分からない——、連絡が付かない場合は——など、今後の問題提起もあった事から、より確実にしていかなければならないと改めて感じました。今後の研修・訓練に活かしていきたいと考えています。

「虐待防止委員会」

虐待防止の義務化が始まり 2 年になります。しかし、未だに虐待報道を目にします。報道される虐待の多くは誰から見ても明らかに虐待行為である事はわかります。しかし、虐待と言にしても目に見えない虐待も数多くある事や、自分が加害者かも・・と頭をよぎる事が誰でもあるかと思えます。そんな「？」を明確にし、理解を深め、自己啓発に繋げていく事が大切な事です。また、身体拘束適正化についても同様に、本人の意志であってもその行為が真に必要なのかを考え、他の方法はないのか、また、今の状態をどのように解決していく必要があるのかを明確にしていかなければなりません。

虐待防止・身体拘束適正化では各事業所においての現状の報告から新しい報告等の有無の確認を行い、身体拘束適正化について話を深めました。

今年度も昨年度同様に講師の先生を招き、今年度も「虐待防止・身体拘束適正化」の法人全職員での研修を行い、義務化された内容を皆で深く学ぶことができ、利用者との向き合い方を改めて見直す機会になっていると感じています。

「身体拘束適正化委員会」

身体拘束適正化について……法人内で拘束に該当される利用者が 1 名みえることから、定期的に身体拘束適正化委員会を開催し、過去～現状についての報告、記録方法、今後の見通しの話し合いを重ねています。その方の活動中で実施する事を含め、委員会で話し合った内容をスタッフに伝え、実践を重ねる事で少しずつ変化が見られて来ています。今後も身体拘束適正化に努めて参ります。

2. 「けやきの家」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
生活介護 事業所	自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

(1) 総括

今年度は、事業所での感染対策や日々の体調管理が実を結び、クラスターの発生や閉所をすることなく開所を継続することができました。生産活動をはじめ、外部講師によるプログラム、輪来工房との合同イベント、さらには公共施設やレジャー施設への外出など、少人数から大人数まで、事業所内外で多岐にわたる活動を展開できました。

今年度は、特別支援学校高等部の卒業生2名が新たに入所されました(うち1名は3月末に生活スタイルの変更に伴い退所)。実習生や体験利用、事業所見学の問い合わせも多く、利用が増える中で、活発に活動する方と年齢とともにゆったり過ごす方とのニーズの二極化も進んでいます。そのため、前年度に引き続き、身体・精神的なアプローチに特化した専門講師の協力を仰ぎながら、利用者一人ひとりの状況に合わせた活動の提供に尽力してまいりました。

なお、来年度につきましても、特別支援学校高等部の卒業生1名の入所を予定しております。

管理者

各報告

① 外出全体まとめ

外出では、近隣や高速を使って公共施設やアミューズメント施設等に出かけ、景色をみて歩くことや乗り物に乗って楽しみました。また、月2回はお弁当購入やフードコート等で好きな食べ物を選んで食事を楽しむことができました。

今年度もなかよしハウスをお借りして、遠出以外にも、季節のイベントや鍋やお好み焼きパーティー、メンバーの誕生日にはみんなで祝う等、交流を深めました。また、なかよしハウスをお借りすることで、雨天時や少人数での活動が安全に過ごすことができます。いつもありがとうございます。

サービス管理責任者

○ 月曜日外出チーム(外出メンバー4名)

今年度から、職員の事業所異動に伴い、月曜プチ外出を引継ぎました。また、新規利用者の入所でメンバーの入れ替えもあり、慣れない中で利用者ができる事を行い、外出を楽しんで頂けるよう取り組んできました。

その中で、昼食時のご飯つぎや食器拭きが自分の仕事のように習慣となる方、散歩に消極的な方が新たな場所へ行く事で興味を持って散歩する等、ちょっとした変化が見られました。

そして、年度途中から更に新規利用者やスタッフが加わり、プチ外出から正式に外出へと変わりました。

メンバーの中には、食へのこだわりがある方や急に走り出す方、情緒不安定で緩慢な動作になりやすい方がいます。そんな個性豊かなメンバーが、限られた時間の中で楽しく外出できるように全体のバランスを考えながら支援をしています。特に課題としているのは、買い物や散歩中に安全に過ごせる支援方法で、日々試行錯誤しています。

月曜日外出担当

○ 火曜日外出チーム(外出メンバー10名)

今年度もこの外出は、利用者10名、スタッフ5名で出かけていますが、利用者の都合や、体調がすぐれない日もあり、10名全員揃うことが難しかった年でした。

男性スタッフがお茶や外出バッグの中を準備し、女性スタッフが忘れ物の確認をし、利用者と一緒に外出の荷物を車両に積み込み、みんなで準備をしています。

外出先は、利用者が集まった時に提案を聞いて行き先を決めています。同じ場所にならないように気をつけています。今年度も、土岐のどんぶり会館・陶史の森、城山公園、森林公園等いろんなところに出かける事ができました。また、生産活動で使う楮の購入で豊田市小原村和紙のふるさとへ行きました。普段と違う場所だったので利用者も楽しめたのではないかと思います。

天候が悪い日や気温が不安定な日には、なかよしハウスをお借りして食事をしています。食後は、お菓子とコーヒーでおやつタイムを楽しんでいます。今年度は、気温が高い期間が多かったので夏場のおやつタイムは、かき氷で一息つきました。また、12月にはお好み焼き、1月には鍋をしてメンバー間の交流を深めました。普段見られない様子を見ることができ、スタッフも一緒に楽しむことができました。

成功したこと、失敗したこと、メンバーが揃わない事等いろいろありましたが、外出は楽しめたのではないかと思います。来年度は、全員が揃っていろいろ挑戦して外出を楽しみ、利用者の知らない事をもっと知りたいと思います。

火曜日外出担当

○水曜日外出チーム(外出メンバー7名)

このグループは、無認可時代最初の入所利用者から今年成人式を迎えた一番若い女性まで、男性3名女性4名の7名で構成されたグループです。

のんびり、ゆったりとした利用者が多く、主な外出先はけやき福祉会を発展させる会の事務所である通称なかよしハウス。そこで給食やスーパーで購入したお弁当を食べ、おやつを食べた後は近くの公園等に散歩に出かける事もあります。

最近では、電車が見たいという要望が多く、高蔵寺駅近くに車を停めて、時間が許す限り電車を見送っています。「電車が好きなら」と市の交通児童遊園に行っても、真っ黒のSLには誰も興味をもってくれませんでした。

利用者の一番の楽しみは、お店に行って大好きなコーラを飲んだり、フライドポテトを食べたりする事です。レストランでの食事の楽しみの一つです。お店に入ることが苦手だった利用者も最近ではスムーズに入ることが出来るようになりました。

また、バスに乗って外出するのが大好きなグループです。自分の要望を表現できない人達ですのでやりたい事、好きな事をくみ取って、より良い外出にしたいと思っています。

水曜日外出担当

○金曜日外出チーム(外出メンバー11名)

金曜日は利用者11人、スタッフ5人で外出しています。

今年度も季節の良い時期は近隣の様々な公園やお出かけスポットへ出かけ、各自が選んで購入したお弁当を食べたり、散歩や遊具で楽しんだりしました。また、市内で行われた刺しゅう展や写真展、作品展を見に行ったり、桜や紅葉を見に出かけたりと季節やイベントに合わせて出かけました。

その中でも、みんなが楽しみにしているのがレストラン外出でした。フードコートやレストランで各自がメニューの中から好きなものを選んで食べる時は、みんないい表情を見せてくれます。特に愛知牧場へ出かけた時に「おいしいね、おいしいね」と話しながら食べたソフトクリームは、みんなで美味しいものを食べている一体感も手伝って、更においしく感じられました。

金曜日のメンバーの中には、時に集団で行動する事が難しい人も何人かおられるのですが(バスから降りられない人、周りの人にイライラしてしまう人など)、その都度スタッフが試行錯誤しながら対応し、全員で楽しく外出できるように相談しながら行ってきました。スタッフ同士でフォローし、それぞれが状況を見ながら柔軟に動く中で、スタッフ間の信頼感やチームワークもレベルアップした1年でした。

金曜日外出担当

②外部講師活動全体のまとめ

今年度も、音楽療法、ホースセラピー、リトミック、動作法、そして理学療法（ロコモ体操）の各専門講師をお招きし、継続的に取り組むことができました。

以下に、講師および参加スタッフからの活動報告をまとめました。

○音楽療法

原田先生の大きくて元気な「こんにちは～！」で火曜日と木曜日の音楽は始まります。この時間が大好きな利用者は、目がキラキラして、早く自分の好きな曲を歌って欲しくて仕方がない様子です。一緒に歌ったり楽器を鳴らしたりとすぐにノリノリになります。また、曲の合間には、先生の面白い話もたくさん出てきて、スタッフにとっても楽しい時間です。そんな中でも一番盛り上がるのは「しあわせなら手をたたこう」です。それぞれ自分のやりたい（たたきたい）ところがあり、先生に名前を呼ばれると「足」とか「耳」などを即答し、中には、「ピース」と手を高々と上げる人もあります。自分で表現できない利用者には、その人がいつもやっている動作や口ぐせを引き出し、全員が参加できるようにしていただきます。

原田先生の音楽の時間は、毎回元気をいっぱいいただける楽しい時間です。

現場スタッフ

○ホースセラピー

参加者の入れ替えもあり、昨年とはいろいろ変わって来ています。開始当初 4 人から始まったことを知っているスタッフが見学に来たらきつとビックリするかもしれません。今も続いている参加者は、2 人。1 人は馬に近づくことから始まり、1 人は 2 人がかりで支えながら乗ることから始まりました。乗り降りは補助が要りますが、それ以外、今は 1 人で出来ます。

つい馬に乗ることだけを目標にしがちですが、ホースセラピーは決してそれだけではありません。もう一度原点に立ち返って取り組みを進めて行きたいと思っています。馬と共に居る時間、馬に関わる時間、馬のために何かしてやる時間、馬と動く時間、馬に乗って本来のリズムを取り戻す時間、それらをもう一度見直します。観ているだけでも心への効果は有ります。

余談ですが、けやき福祉会とは別のある団体が、20 人くらい連れて来て、ただ座って観ていただけでも施設の中での喧嘩が減ったと言っていました。ある日 100 袋以上のオガクズが届いた時、スタッフから彼らは何も出来ないと言われて毎日座り続けていた彼等が、私の運ぶのを手伝って袋を運び始めました。ある者は 1 人で、ある者たちは 2 人で列を成して運んでくれたのです。何かしら夢が実現していく気がしませんか？

げんき牧場代表 加藤

○リトミック

今年度もけやきの皆さん(10 名～15 名程)の通常セッションと式典を目的としたけやきの家や輪来工房の皆さんとの合同大集団セッションを行いました。この貴重な体験からの私の思いを報告いたします。

合同大集団セッションの利点は、日程が決定してから当日までの短期目標ができ、私としても身が引き締まる思いがします。普段馴染みのない方のお気に入り曲をスタッフにお聞きし、マンネリ化の曲に変化を与えてくれます。とは言っても、通常セッションでは皆さんの各々のお気に入り曲は外せずその場に参加している利用者にも馴染み曲となり、自分の曲でなくても毎回大きな声で体を揺らして楽しそうに歌ってくれる方も見られるように変化しました。「この歌、知っている」安心感と喜びとワクワク感と「この歌、私の曲！」と言う承認欲求を満たしてくれます。

また、今回の成人式での合同大集団セッションでは、以前けやきの家の通常セッションに参加してくれた方が終了時に「ギターでさよならの曲をやってよ」と私のところまで来て、体で訴えてくれました。

それで私と一緒に大きな声で「サーヨーナーラー ♪」と歌い出された場面は、うれしい思い出です。

今年、コロナから 6 年が過ぎますがマスクは常用になってしまいました。それでも通常セッションでは、皆さんとの対面活動を取り入れています。

タンバリンでのコミュニケーションや「茶摘み」や「アルプス一万尺」の歌に合わせた手合わせは、利用者もにっこりと笑顔になります。

最近、映画「タイタニック」のテーマソングが好きな方がいますとスタッフからお聞きし、その方がいつにもなくうっとりされている場面がありました。ほんとに「良かった、良かった」とこちらが感激しました。

入所式では、「秘伝ラーメン体操」の曲も、スタッフから教えていただき、プログラムに新しい風が吹き助かっています。

いつもながら利用者の皆さんとスタッフの皆さんに支えていただきながら楽しませていただき、ありがとうございました。

音楽療法士 渡邊

○動作法

月曜日の午後に行っています。月の内2回は、スーパーバイザーの二宮先生に来ていただいて、利用者に動作法を行っていただき、私たちスタッフへの指導をしていただきました。

体の緊張が強い利用者が多いので、コミュニケーションを図りながら、体の力が抜け、リラックスした状態で、体(腕や肩、腰、脚など)をスタッフとともに利用者自身で動かしてもらおう事を目指しています。そのような状態が作れると、初めはおしゃべりしていた人も静かになり、動作法に意識が集中しているのが分かります。余計な力が抜けると、緊張がある時にはできなかった動きが、スムーズに動作できることがあります。

しかし、そうは言っても、私たちスタッフがそのような状態に持っていくのはなかなか難しく、体を触らせてもらう事で更に緊張を強めてしまう事もあるのですが、毎週接する中で、その人の調子や体の緊張具合などを理解し、心身共にリラックスした状態で行えるように引き続き行っていけたらと思います。

動作法担当スタッフ

○理学療法

2025 年度けやき福祉会リハビリテーション報告書

活動日時: 毎週 月曜日 AM10:00～

参加者 : 5 名～10 名程度

活動内容: 集団体操 頸部・肩・肘・手・股・膝・足 ストレッチ

: セラバンド 上肢 下肢

: 筋力増強 スクワット 30 回 つま先立ち 30 回 立位前屈 20 回

膝伸展固定 60 秒 膝屈曲固定 60 秒

: ラジオ体操第一

: 必要に応じて個別相談

例年通り、おおむね計画通り進めることができた。

利用者の高齢化が進行し、日常生活活動レベルの低下が予測されることから、ストレッチや筋力増強を中心に取り入れている。

知的障害者等は運動の受け入れが非常に困難であるが、毎回多数のけやきのスタッフが協力していただけるので大きな問題もなく進めることができた。

参加者の半数近くは運動を理解していないが、参加することに否定的な利用者は減少してきたと思われる。

また、医療依存度が高い利用者も増加してくるので、看護師やスタッフとも情報を共有してリスク管理に努めていきたい。

2026 年度はゲーム等も取り入れ、参加人数を増加できるように検討していく。

中部大学生命健康科学部 理学療法実習センター

センター長 准教授 宮本

③けやきの家・輪来工房合同イベントのまとめ

6月6日：福祉の里にて入所式。

12月19日：ハーモニー春日井にてクリスマス音楽会。

2月13日：けやきの家にて二十歳を祝う会。

○入所式

今年度は、けやきの家2名、輪来工房3名の利用者が新しく入所され、福祉の里の大広間をお借りして入所式を行いました。

ステージに席を設けて主役の利用者やご家族に座っていただき、他の仲間達は畳で参加し、花束贈呈や挨拶、質問コーナーなど順に行いました。新しい環境が苦手な方やその場に留まることが苦手な方がいたので、全員が最後まで参加することはできませんでしたが、大きなトラブルやケガもなく終えることができました。

渡邊先生による音楽の時間では、会場が和室で畳だったこともあり、座って聴いたり、曲に合わせて踊ったりとのびのびとそれぞれのスタイルで参加することができました。

入所式 イベント担当

○クリスマス音楽会

今年度も二つの事業所合同で、12月イベントを開催しました。音楽会とサンタさんからのプレゼント、集合写真を撮りました。音楽会は、けやきの家の金曜日に来てくださっている音楽療法士の渡邊先生をお招きしました。先生の演奏に合わせ、楽器を大きく振って鳴らしみんなで進んで会場は大盛り上がりでした。

その後のプレゼントタイムでは、サンタさんから一人一人に手渡しでプレゼントが贈られました。最後に輪来工房の仲間と一緒に集合写真を撮り、締めくくりとなりました。

普段なかなか一緒に活動する事が難しい仲間と楽しい時間を共有する事ができ、合同で開催して良かったと思います。

クリスマス音楽会 イベント担当

○二十歳を祝う会

2月13日(金)にAさんの成人を祝う会をけやきの家で行いました。

当日の間までは、スタッフと利用者と、折り紙やおハナ紙で飾りづくり、看板や式次第を作成するなど準備しました。また、当日の午前中には、会場の飾り付けを行って頂きました。

本番では、自分と一緒に司会をしてくれた利用者は事前に練習した事もあり、上手に喋ってくれました。花束とプレゼント贈呈では、利用者からAさんへ渡して笑顔で受け取って頂きました。Aさんの生い立ち紹介では、好きな事を表すポーズや水泳が好きだった事など知らなかった一面を聞く事ができました。渡邊先生の音楽会では、Aさんが途中で静かな場所を求めて1Fに降りてしまう事がありましたが、音楽会が終わる前に戻ってきてくれて好きなラーメン体操と一緒に聴く事ができました。最後に、Aさんご家族の方へ。成人おめでとうございます。これからもよろしくお願い致します。

二十歳を祝う会 イベント担当

④看護師業務報告

今年度も発熱や体調不良の方がおられ、スタッフ協力のもと、来所時の検温また適宜午後の検温も行い、異常の早期発見に努め隔離や待機する場所を決めて、感染拡大しないよう努めました。

利用者の中には、高齢化や疾病に伴う身体機能の低下などがあり、転倒や怪我がありました。グループホームからの日常生活動作の情報収集に努め、多職種との連携により必要な装具などを検討しました。

今後もよりよい支援につなげられるよう、観察・情報交換、また医療機関・系列の違うホームとの連携を密に行えたらと思います。

昨年度に引き続き、病院への受診同行も行いました。

利用者	病院	内容・症状など	結果・対応など
Uさん	白山外科病院	額中央腫脹、一部青痣あり。 (朝気付く) どこで打ったかは不明。 左脇の腹腫脹、一部青痣あり。	レントゲンにて骨折なし。 ↓ 湿布処方あり。 ↓ 左脇湿布貼用しホームへ送る。
Kさん	眼科 山田クリニック	10時頃、他利用者による他害あり。 目の辺りを引っ掻かれる。 左眼頭下切傷 0.2 mm程あり。 結膜1ヶ所創あり。 涙と出血少量あり。	角膜少し傷あり →ヒアルロン酸 Na 点眼液 結膜内出血少しあり →様子見 左眼の下創 →オフロキサシン軟膏 帰所後、点眼しホームへ

⑤作品展示まとめ

今年度は12月に市役所、3月にむがむちゅう展で作品を展示させていただきました。

市役所では、貼り絵や粘土作品を出展し、むがむちゅう展では利用者が好きなラーメンやピザなどの創作作品を出展しました。

今回も利用者が得意なこと、出来ることから考えて作品を作り上げました。会場に来て下さった皆さんからの手書きの感想もみんな読んで嬉しく思いました。ありがとうございました。

作品展示担当

⑥生産活動まとめ

○紙すき

けやきの家と輪来工房の2ヶ所で作業を分担して制作しています。

けやきの家では、色付き和紙、コースターやハガキなど、紙を漉いて出来る製品を主に作っています。

牛乳パックめくり・ちぎりでたくさんの方が取り組んでくれています。そして、細かくした紙を皿にミキサー掛けしてさらに細かくしてから水を切り、計量しやすい大きさに固めるパルプ作りも任されている仲間が交代で作業して作ることができました。

紙を漉くのは難しく、一部が薄くなることや穴が空いてしまうことがありました。しかし、時間をかけて1枚1枚丁寧に作ることで、目標数を作成することができました。うまくいかなかった和紙は、別の製品への加工や材料にするなど再利用して無駄なく活用することができました。

紙すき担当

○薪

今年度も薪担当は2人のスタッフで、「薪の注文受付と原木購入」と「チェーンソーメンテナンスと物品購入」を分担し、けやきの家と輪来工房で協力して活動しました。

利用者と一緒に原木を購入し、薪割り、束作り、販売を行っています。また、毎週水曜日には、輪来工房へ薪束を取りに行き、車に積み、けやきの家の棚に並べて販売できるように準備しています。

今年度は、購入した原木の保管場所が変更となり、購入後の原木の玉切りがスムーズに行えず、原木の仕入れにも影響が出るなど課題がありました。また、薪割り機の故障に伴う新しい薪割り機の切り替え準備などもあり、想定どおりに活動ができませんでした。しかし、秋以降にはスタッフと連絡・連携を取りながら、薪作りや販売などが円滑になってきています。

薪担当

○カレンダー

今年度は和紙製品の増産に取り組み、前年度の 20 部を上回る 25 部を作成し、うち 23 部を販売することができました。

制作効率を上げるため、利用者と相談しながら、工程や作業時間の見直しを行い、焦ることなく、一つひとつの作業を丁寧に行うことができました。その結果、損紙(ミス)も少なく、予定よりも余裕を持って和紙を確保することができ、目標の部数達成に繋がりました。

カレンダー担当

○缶

今年度も多くの缶を提供していただき、ありがとうございました。缶作業が得意な利用者が、缶洗い、缶潰し器や足で潰して細かくして袋に詰め、輪来工房チームへ缶納品を依頼できました。

缶担当

○粘土

今年度も引き続き、何を作るかテーマを決めて複数制作し、納得できた物ができると次の作品に取り掛かっています。

他にも今年度から釉薬をつかって、色付けにもチャレンジしました。初めは釉薬と水の配分も難しく、焼き上げた後、色が付いていなかったり、はじけていたりしましたが、試行錯誤していき少しずつ上手に色がつくようになりました。

スタッフや作品を見に来てくれた方からも、素敵だね！などお褒めの言葉をいただきました。

粘土担当

その他事項

① 会議等

・職員会議(月 1～3 回) 計 26 回 ※輪来工房と合同で職員会議を実施

* 職員会議では、利用者ケース検討(6 回)、担当業務報告、イベント打ち合わせ、各委員会報告、ヒヤリハット報告の共有、その他連絡・検討事項が主な議題内容

② 防災訓練・救命救急講習

避難訓練(12 月・3 月)実施

12 月 : 厨房からの火災を想定し、火災報知器と通報、駐車場までの避難及び消火訓練

3 月 : 地震を想定し、机で身を守り、地震が収まってから駐車場へ避難及び身近な物を使った救護訓練

12 月は、火災を想定した訓練でした。実際に火災報知機を鳴らし、通報と誘導を含めた避難訓練で、比較的スムーズに避難ができました。また、避難後には利用者とスタッフで訓練用の消火器で的に水を当てる消火訓練を行いました。

3 月は地震を想定した訓練でした。CD デッキで緊急地震速報を鳴らし、スタッフが声をかけて机の下に避難。建物倒壊音が終わったら全員で避難という流れで実施。地震の音が小さいことや実際に揺れないことで、机の下に避難できない方がいました。外への避難は、緊張からトイレに向かわれた利用者以外を除き、昨年よりも、早く避難することができました。

その後は、防災担当による「ヒートショックの危険について」「火傷の処置」「誤嚥防止」などの救護訓練を行いました。

救命救急講習

3 月: けやきの家と輪来工房合同のスタッフ計 15 名で、春日井消防署より指導員 3 名を招き、救急救命講習を実施しました。

(2)体制

体制		2025/4/1時点		2026/3期末	
		人員	常勤換算数	人員	常勤換算数
管理者	常勤	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1
	非常勤				
生活支援員	常勤	1	14.9	1	14.6
	非常勤	32		30	
添乗員	非常勤	2	0.6	4	0.5
運転手	非常勤	3	0.4	2	0.3
看護師	非常勤	2	0.6	2	0.5
医師	非常勤	1	0.1	1	0.1

利用日数と利用率

2026年3月31日時点

区分別	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	3	10	10	23
女性	0	1	3	11	15
合計	0	4	13	21	38

利用者数

月	開所日数	総開催日延べ人数	総利用者延べ人数	利用率
4月	21	777	639	82%
5月	20	740	615	83%
6月	21	777	645	83%
7月	21	777	629	81%
8月	17	629	512	81%
9月	20	740	590	80%
10月	22	814	663	81%
11月	18	684	541	79%
12月	20	760	626	82%
1月	19	722	583	81%
2月	18	684	530	77%
3月	21	798	646	81%
合計/平均	238	8902	7219	81%

※不定期利用の方は利用されない日数を含む・小数点第2以下四捨五入

2026年3月31日時点							
年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	2	4	4	3	9	1	23
女性	1	1	3	6	4		15
合計	3	5	7	9	13	1	38

2026年3月31日時点		
総契約者数	38名	割合
男性	23名	約58％
女性	15名	約42％

2026年3月31日時点			
退所者	人数	入所者	人数
男性	1名	男性	2名
女性	0名	女性	1名

(3)ヒヤリハット、事故報告まとめ

2025年度 ヒヤリハット報告一覧

発生日	場所	項目	どのように	要因	対策
4月9日	玄関入口	自傷	10:15頃、1人で壁に頭をぶつけている所を発見する(看護師)来所されはちまきクッションをはめようとした所、他の利用者の支援にまわり(外に出ようとしている方を止めにはいった)目を離してしまい、玄関先の壁に右頭を3.4回ぶつけてしまいました。10:20右側頭部腫脹あり 発赤あり 出血なし アイスノンで午前中冷やす。	来所時にはちまきクッションをはめようとした所、他の利用者の対応にまわってしまいその間に壁に右頭をぶつけてしまっていた。	目を離す際には周りのスタッフに声掛けるようにする
4月15日	けやきの家 玄関前車内	不穏・パニック	けやきに家玄関前に駐車していたセレナをスタッフと利用者Sで掃除をし、その後車内でリラックスしていた。利用者Sの送迎兼ドライブの時間になり、セレナの鍵がなかったので他の車に行く利用者2人に乗ってもらう。利用者Sにも声をかけるがセレナからなかなか降りず。鍵が戻り、セレナで出発しようと思ったが、既に利用者Sは降りてけやきの家に入り乗車拒否。他の2人の利用者さんにはセレナに乗ってもらい利用者Sも何とか乗れたが、乗った直後に怒り出し隣にいた他の利用者のメガネを取って投げた。危険と判断し、他の2人には降りてもらい利用者さんのみで出発した。	利用者Sはセレナで時間になったら出発できると考えていた可能性がある。他の車で最初出発しようとしたが気持ちの切替ができなかったかもしれない。	送迎前に乗って行かない事には利用者S(利用者さん全般)を乗せない、一度気分が高まったら、送迎が遅れるかもしれないが、クールダウンするまで待つことも検討する。利用者Sが高ぶっている時は横に誰も座らせず3列目に座って頂く。
4月16日	歩道	転倒	農村公園までの散歩で歩いている途中で急に力が抜けて右膝がカクンとなり、地面に膝頭があたりました。ズボンが汚れ膝も擦りむいてほんの少し出血。消毒し。絆創膏を貼りました。	急に力が抜けた様子	本人は嫌がりましたが、手を繋ぐか支えながら歩く。
4月16日	空地	スタッフ(ヒヤリ)	同じ取り組の5人と職員2人で散歩にでた。お寺の前の空き地で急にズボン・下着をおろし排尿される。	他の利用者の方は声掛けし散歩前にトイレを済ませていたがもう一人の利用者は散歩にどうお誘いするかに気を取られトイレの声かけを忘れていた。	散歩など何か取組の前にはトイレへの声掛けをする。ずっと室内にいる時でも1時間くらいでトイレへの声掛けをする。
4月17日	食堂	自傷	2Fソファに座っていた際、他の利用者の対応にまわってしまい、食堂の壁に右の頭を数回ぶつけてしまった。13:30右側頭部表皮解離経度あり、出血なし腫脹なし。アイスノン貼用し冷やす。	食堂で他の利用者の方へ行ってしまうFさんを一人にしてしまったため。	自傷行為がある方から目を離さない。離れる時は周りにいるスタッフに声をかける。
4月22日	2F食堂	転倒	自分が座っていた椅子の横にリュックを置いていたが、急に立ち上がって動いた時に肩かけ部分に足が引っかかって転んでしまった。複数のスタッフと看護師交えて傷の確認をしたが、特に目立った外傷はなかった。本人も痛がったり気にしてる様子は見られなかった。	リュックの肩かけ部分に足が引っかかってしまい転んだ。リュックが床に置いてあったため。	リュックサックは机や棚に置いてもらうようにする。本人は、自分の近くにリュックを置きたい様子。
4月28日	キッチン	打撲	紙すきの作業中、珪藻土マットに水がかかってしまった。乾かす為に流し台に立てかける。流し台に立てかけてあった珪藻土マットが倒れてしまい右足甲の上に倒れてしまう。10:55右足甲に青志2カ所あり、腫脹なし。午前中アイスノンで冷やす。12:00アイスノン外す。青志同様にあり。腫脹なし、様子観察とする。	ミキサーの作業中、珪藻土マットに水がかかり、乾かす為に作業動線上の所に立てかけてしまっていた為。本人も足元を良く見ていなかった為。	作業動線の所には、物を置かないようにする。本人にも足元をよく見て歩くよう注意を促す。

発生日	場所	項目	どのように	要因	対策
5月16日	四季の森の池	利用者(ヒヤリ) 苦情案件	四季の森を散歩中、池の前のベンチで他の仲間と休憩していた。急にニコニコしながら池に向かって自分の履いていた靴を投げいれた。浅い池であるので、自分で靴を取って来るように伝えるとすぐに池の中に入って行き靴を取って来たが、それを何回も繰り返しどんどん楽しくなってきた様で奥の方まで入っていき自分でTシャツ・ズボン脱いで全裸になってしまった。	どうやら水遊びが好きだったようで、水の中に入り楽しくなり止めても服を脱いでしまったよう。しばらくすると、自分で服を着て池から出てきた。	水遊びが好きだという事を把握しておき、入りたくなるであろう水(池など)の近くには行かないようにする。服を脱ぐ前に気を逸らすなどして服を脱ぐ事を食い止める。
5月22日	階段	転倒	階段を降りている時に一番下の階段を踏み外して膝から転んでしまった。14:45両膝見たが今のところ発赤等見当たらず、様子観察とする。	下から二段目を一番下の段と勘違いしてしまった様で大きく足を踏み出してしまい、転倒した。	手は繋いでいたが支えきれず転倒してしまったので、階段は特に注意して足元をしっかり確認して支援する。
6月3日	玄関口	転倒	玄関から出ようとしたので、腕をかかえて止めようとしたところ、本人に足を踏まれてよろけて後ろに転んだ。転ぶ際に、支援者がドアに脇腹を当て打撲した。利用者さん本人は転んだがケガは見当たらなかった。	肘が抜けやすいので、腕を持っていたが利用者、支援者の距離が近く足を踏まれやすかった。	ズボンのウエスト部分を持って移動するようにする。距離が取れて。踏まれて転倒する可能性が小さくなる。
6月18日	一階休憩室	自傷	14:30頃、一階のプレイルームでYouTubeで曲を聴いている。利用者Hが自分の好きな曲を聴いて他の仲間の好きな曲に変わった時に気に入らないので自分の好きな曲に変えたくてB室に走り出し、注目を集めようとする。何回か同じことを繰り返し注目を集め利用者Fというスタッフも利用者Hさんが急に激しくB室に移動する。それをスタッフが追いかけて利用者Fさんから離れるその隙に利用者Fが左こめかみじ自傷する。14:45左眼尻腫脹あり、出血なしアイスノンで冷やす。	スタッフが利用者Fから離れない様にする。利用者Hが急に動き出すので利用者Hの担当を他のスタッフにかえる。	利用者Fが不調の時は、担当するスタッフは集中する。利用者Hも担当するスタッフは男性に集中した方が良かった。
6月23日	1階 プレイルーム	打撲	YouTubeで音楽を聴きながら、椅子の前に立ち楽しそうに身体を揺らしていると小発作があり利用者に座って頂くよう促していき、座られてから頭部が下がりミュージックテーブルへおでこの右上をぶつけられた為、冷やしました。少し腫れがあり冷やすと落ち着きました。	小発作の後、肩の方を持ち椅子へ座って頂き頭部を支えるのが遅れた為。	小発作がある時は、頭部の動きにも注意をし手を添えられるようにする。
7月8日	送迎車両	スタッフ(ヒヤリ)	朝、送迎移動車両の中で、5名の利用者に乗せけやきの家に戻って4名の利用者に降りてもらい、GHの利用者4名を迎えに行く移動を始めた時に利用者を下車させていなかった。	再出発前には、必ず車の後を確認しているがタイミングが悪かったのか利用者Mの姿を確認できず出発してしまう。	送迎が複数力所の場合は乗降は人や荷物だけではなく乗降の前後にも確認する。
7月16日	けやきの家 2男性トイレFプレイルーム	物損	午後の取り組みでYouTubeを楽しんでいた所、救助袋の後ろにある縦滑り出し窓が開いており、下を見るとぬいぐるみとブロックが落ちていた。	縦滑りの窓の存在に気が付いてしまった。	視覚からも分かるようにガムテープを貼り取ってを隠した。
7月18日	けやきの家 玄関	転倒	帰り支度中に床に座っていて座布団をおしりに入れてあげようとしたところ、自分でお尻を上げられたが本人がバランスを崩し、前のめりになり間に合わず唇を切りあごに擦り傷ができた。	座布団を入れてあげるのにいつもより腰をあげすぎてバランスを崩しているのに気付かず転倒してしまった。	座布団をやめるか、浅くおいてあげて姿勢を見ながら対処していく。横からポジションに入れてあげて支えられる体勢を作る。
7月22日	ゲンキー駐車場	スタッフ(ヒヤリ)	調理の取組でゲンキーに買い物に行って戻った後、買い物中に車のハザードがつけばなしたかったと事務所に電話があった。	ハザードをつけてバック駐車した後、ハザードを消さずに買い物しに行ってしまった。	車から離れる前にハザード含め、シフトやスイッチ等の確認をしてから降りる。
8月1日	送迎車両内	他害	送迎車に乗車中、利用者kには左側の席に座ってもらう事になっているが、利用者Kが自分の好きな席に移動され車両右側、運転席後の利用者Fにちょっかいをかけるためか、席を替えていた。	送迎車に同乗する利用者Fにちょっかいをかける目的でスタッフの見ていない隙に利用者Kさんが席替えをしている。	車両送迎担当のスタッフは車両でのトラブルが発生した場合はすみやかに他のスタッフ、サビ管等の応援を呼ぶ必要がある。
8月4日	けやきの家 2男性トイレ	スタッフ(ヒヤリ)	ゲンキーへ買い物に行かれ、戻った後2階のトイレに入って行かれた。なかなか戻って来られないため見に行くと、1階取り組みのはずの利用者Nと一緒に洋式トイレに入ってみえ、利用者Nさんはズボンと下着を膝まで下ろし、Tシャツは胸まで上げた状態、その前に利用者Aが立ってみえたのですぐに利用者Aに離れてもらう。	2階に利用者Nがいると思っておらず油断していた。	1階の職員にも利用者Nの姿が見えない時は探してもらうようにする。利用者Aがトイレに行かれる時はとトイレの中を確認してから入っていただく。

発生日	場所	項目	どのように	要因	対策
8月7日	けやきの家 2階 プレイルーム	転倒	椅子で眠っていて、1人で立ち上がり数歩歩いて立ち止まる。パソコンの近くまで来て画面を見ていた時に後ろに倒れた。8/8/(金)11:00白山外科受診(お母さまと職員で)①左脳腹 腫脹・青志あり。レントゲン→骨折なり・打撲ありシブ処方あり②額中央2.5cm大腫脹(転倒と関係ないと思われるがホーム朝に気付く)様子見で。症状出現時は受診して下さいと。	寝ていたので立ち上がった時にバランスを崩したか	寝起きはふらつきやすいので目を離さない。
8月18日	1階プレイルーム	転倒	午後の取組でみんなでYouTubeを聞きました。「エビカニクス」が流れるとゆっくり立ち上がり踊り出そうとしていた。マットの上で立ち上がったため滑って尻もちをついてしまった。手とお尻をついてしまった。14:30トイレでお尻を確認、赤みや熱感なし	滑り止めのついていないマットの上で立ってしまった事。スタッフが他の利用者に気をとられ一瞬目を離してしまった。	立ち上がる時は、マットをすぐにどかし気を付ける。利用者から目を離さない。
9月9日	調理室	転倒	2階の食堂でピアノを聴いている途中に立ち上がり廊下へ向かう。調理室の机でYouTubeを見ている仲間を見つけ中へ入る。調理室の椅子の脚にひっかかり、転倒し右側頭部を壁に立てかけてあったパイプ椅子にぶつけてしまった。	YouTubeが流れているパソコンに向かって狭いすき間を慌てて歩いてしまった。支援員が後ろにいた為転倒を防げなかった。	調理室へ入ることをとめることができなかった時はまず、椅子に座ってもらい落ち着いてもらう。自分がパソコンと利用者の間に入る。
9月17日	けやきの家玄関	他害	利用者Sが玄関に入ってきた時、利用者Aを見つけTシャツの後ろの袖を引っ張ったその時、首の下に3本赤い跡が付いた。帰る頃には1本見えていた。	職員が利用者Sの後ろからついていたので対応が遅れた。	なるべくすぐに対応できる位置で支援する。
10月8日	けやきの家駐車場	転倒	外出の為バスに荷物をスタッフと一緒に運んでいる時、バランスを崩して右側に倒れてしまう。(利用者U本人が荷物を運びたい)	一緒に運んでいたスタッフが数歩先を歩いてしまい荷物を利用者Uの歩くペースを見ていなかった	スタッフは横並びで利用者を気にして行動する。いつでも支えられるよう。
10月10日	2階 プレイルーム	転倒	ノートパソコンでYouTubeを鑑賞中、突然たちあがり走り出た際にテーブルの脚に自分の足を引っ掛けて転倒した。挫傷等は見られず様子を見ることにした。	YouTubeを見る際にテーブルに深く腰かけ足を奥に入れてパソコンにかぶりついていたので走り出した時に足をひっかけてしまった。	テーブルとの距離をとりパソコンにかぶりつかず、YouTubeを見てもらうようにする。
11月12日	四季の森の池	転倒	四季の森園内を散歩中立ち止まった時、近くに通りかかった犬を触っていた時、座っていた利用者Yが利用者Uの上着の裾を引っ張り利用者Uが後ろ向きに転倒した。手を繋いでいたのでゆっくり倒れた。左肘辺りを地面にぶつけてしまった。	利用者Yが犬が苦手とは知らず、近くにいた犬から遠ざけることなく利用者Uがかなり近い距離で立っていた。職員が犬の方に注目してしまった。	利用者様と一緒にいる時は、他の人や動物に気をとられてしまうことのない様に気を付ける。
12月12日	玄関口	パニック	他の利用者の体操の声に反応して利用者Hが泣きながら職員Oの手を取って避難する。玄関口で泣いて耳を塞いでいたので、ドアを開けてしゃがんだ状態でおしりをすりながら外へ出る。右手がドアのレール上にある状態でドアを閉め始めたことで薬指に当ててしまった。ドアを閉めるスピードは早くなかったので、挟まれることなく当たる程度であった。発生時と時間を空けてから右手を確認したがケガはなかった。	利用者Hの苦手な声が聞こえない様に扉を早く閉めようとした時に手の位置などの確認がおろそかになってしまった。	利用者とドアの位置を確認して安全にドアを閉める。苦手な声が聞こえる時間帯は、場所を移動して間違えないようにする。
12月12日	2階	物損・怒り	利用者Uの食後スタッフに呼ばれ、薬を渡そうとしたが、まだ鼻をかんでおられた。少しまってから手のひらに薬を渡し飲まれたが、怒って湯呑をおぼんに投げつけ割れる。ケガはなかった。その後、下膳されトイレ・ハブラシ後12:45分頃マット上で横になられる。	利用者Uの食後の鼻かみ・唾吐きがまだ完全に終わっていないく薬を渡すタイミングが早かったのではないと思われる。	食後の鼻かみ・唾吐きが終わるまで、少し離れた所で見守り投与する。利用者Uの日頃のルーティンを把握し、支援する。
12月23日	1階プレイルーム ピアノ側テーブル	他害	利用者Sが1Fをあちこち歩いていた時、利用者Yの帽子に目が行き、取ろうとした際にスタッフが止めようとした所、暴れ出して近くにあった紙すき用の木枠を利用者Yに向かって投げつけ木枠が当たった。当たりが軽かったのか目立った外傷・打撲は見られなかった。	利用者が動き回るようになると、色々なものに触りたがるが、今回は帽子が気になり取ろうとした所を止められて暴れたと思われる。	動き回っている時は危険な物を遠ざける。手の動きに注意して危ない時は払いのける。
12月25日	2階 調理室	誤嚥	食事中、急に咳込みだし、えずく。スタッフが後ろから背中を叩くと痰と少量のご飯粒が出てきた。その後もしばらく続き、痰を出していた。つかえが取れると落ち着いた様子で顔色も戻る。	食事中、下を向いていた為、誤嚥してしまったと思われる。	こまめに声掛けし、下を向いたままにならないように気を付ける。よく嚥んでもらえるよう声掛けする。

発生日	場所	項目	どのように	要因	対策
1月9日	けやきの家事務所入り口・粘土室	パニック	木工で使用するハサミがなく慌て始める。探しても見つからない為、パニックになりかけ勢いよく事務所に入ってゆき扉を外してしまう。その後も周りが見えていないようで室内を探していた。「一緒に探しましょう」と言うと少し落ち着いたのか「はい」と言って今度は粘土室へ行き利用者MとBOX内を一緒に見てみるが、ない。本人もまた焦り出す。「靴の中を見ましょう」と言うと中身を出し始めるが見つからずクルクルまわり、その後も一緒に靴の色々なポケットを本人さんとのぞきこむがない。声が出始め近くにいたスタッフの左頬をピンタする。	物がなくなると、パニックになることはわかっていたのに近くにすぎってしまった。「な〜い」と声が聞こえ、粘土室から早足で出てきて、スタッフの制止する間もなく事務所へ入ってしまったため。	片付けする際は一緒に行い、きちんと私物が入っているか確認する。なくなってしまった場合はサビ管に伝え、自分やホームに確認してもらうようにする。別の物で代用してもらえよう声掛けしてみる。
1月16日	玄関横ベンチ	転倒	来所し靴を履き替えるために玄関横のベンチに座っていただくとした所、仲間のリュックが置いてあった。移動させようかとしたが、仲間の表情があまり良くなく、リュックのすき間に座っていただくとした所、そのリュックに少し乗ってしまい、バランスを崩して横の靴箱で耳をぶつけてしまった。ケガの確認とアイシングを行う。経過を見たが、少し赤みがあるが腫れることもなく、本人もぶつけた耳を下にして寝ていた。	①リュックを移動させなかった②本人は自分で周りを見て注意するということが出来ないので支援者が気を付けなければいけなかった。	状況により空いている場所に誘導して履き替えていただく。
1月19日	けやきの家玄関	転倒	けやきの家玄関にて外用スリッパに足が引っ掛かり両足、両手をつき転倒。本人が狭い道を通った為、反対側から周りこみけがを確認。その後、看護師とともに確認し手当てをする。	屋外にいるスタッフを見つけ、走り出してスリッパにつまずいてしまった。	なるべく一緒に付き添う。環境を整え、本人の動線に物がいない確認する。
1月19日	1Fプレイルーム	転倒	利用者Hがミュージックテーブル上のPC（YouTubeで曲を流している）の画面を見ようと急に動いた時に足がもつれてバランスを崩してテーブルに片手をついたが身体がそのまま転倒した。その時、ピアノ前で床に座っていたり利用者Tの上にのしかかった為に利用者Tが後ろに倒れてピアノの椅子に頭部を打ってしまった。	利用者Hの動きを見守るスタッフが不明確な状況になっていた事と、利用者Hの近くにスタッフがいなかった状態が重なっていた。転倒防止と転倒してきた人から守る体制不備であった。	利用者Hが朝1人で転倒した事を重視し、今日からはバランスを崩しやすい？としっかり同じ取組のスタッフが認識し転倒を防ぐとともに、ほぼ床に座っていることが多い利用者Tに車椅子や椅子に座ってもらい、床に座っている時は特に見守りを確実にする。同じ取組のスタッフの連携を再認識する。
1月28日	ポルテ(車両)	スタッフ(ヒヤリ)	アトラスは送迎でけやきに着いた時にカギが開いていたため乗車してしまう。ポルテは事務所に入ってカギを持ち出し、電子ロックを解除し、乗車、運転席に移動しカギを差し込みエンジンをかけようとするが「絶対にダメ」と伝え、車両キーを利用者Sさんから回収した。	カギのある場所、エンジンのかけ方をよく見ていてしなかったのか、出来てしまう。	今回のことが、成功体験となってしまう。危険があることを伝え。車の乗車はスタッフの同行であることを徹底する必要がある。車に乗ることを多くの人に呼び止める必要がある。
2月9日	ジブリパーク	スタッフ(ヒヤリ)	ジブリパーク内で昼食後に散歩に出発。この時は、利用者Aは帽子を被っていた。観覧車まで行って車に戻り出発後、数分経って利用者Aさんが帽子を被ってないのに気付く。車内を探しても見つからず、ジブリパークに落とし物の確認をしたが、当日は出てこなかった。	出発時に、利用者Aを含め全利用者の恰好を把握していなかった。散歩からの休憩、休憩からの出発時。散歩時に利用者の恰好をあまり気にしていなかった。	けやきの家から出発時に全利用者の服装や身に着けている物を把握し、支援後は常に気にかけて見ておく様にする。
2月16日	けやきの玄関	転倒	車に乗車時、靴のファスナーが上がっていなかったことに気が付き(靴は別の人が履かせていた)上げようとした所、利用者Iが途中で歩き出され玄関の段差につまづき、左ひざ・肘そついでゆっくり倒れる。	歩き出されてから気が付き、立ったままファスナーを上げてしまったため。	ファスナーを上げるときは一度座っていただいてから上げるようにする。靴を履かせた人がファスナーを上げるよ様にする。

発生日	場所	項目	どのように	要因	対策
3月4日	1F和室	転倒	午後はYouTubeを視聴して過ごされていた。本人は、14時40分頃に視聴をやめて1F和室に横になった。14時50分に起き上がったため、ヘッドギアを装着し和室の小上がりから床に降りる時、膝折れし、両膝を床に打ち、そのあと両手も床につく。転倒時の物音で、課長・サービス管理者・看護師がかけつけてくれたため、その場で状況説明する。看護師に、両膝と両手の平をみてもらい、両膝に軽度発赤あり。手の平はもともとの赤みがあり、それ以上に赤みが強い所は見られなかった。本人に痛みなどを聞いても、それに対する返事や痛みがあるようなジェスチャーは見られなかった。もう一度両膝を確認し、発赤が広がってない事を確認して経過観察となる。	起きたあとの行動だったので十分に覚醒しておらず、寝ぼけていた状態で、YouTubeの視聴をしたいとテーブルに注視してしまい、足元に意識が向かなかった可能性がある。	立位のまま床に降りずに和室の小上がりの上で座ってもらい、そこから靴を履いてもらい、立ち上がるようにする。
3月10日	野外	転倒	多治見の永保寺で利用者E、利用者Kと3人で散歩中、利用者Eさんが急斜面で転倒、わたしは、手をつないでいたので、助けることができず、利用者Eさんは右手が下になり2回転倒転がり、右手中指と手の甲をすりむいた。	急な坂道で転がりやすかった	歩行が不安定な利用者もいるので、急斜面など危険となる道は避けて歩きやすい道を選んで外出へ行く
3月16日	食堂	他害	調理終了後、利用者Kが隣の食堂へ行き、ソファーに座っていた利用者Fの口をふさいだ(斜め後ろに立ち、手を口に持っていった「)	利用者Fが声を出していた事にイラついてふさいだ	目を離さない。取組みの場所から出ないように指導する。その行為がどんなに恐ろしい事を分かるまで説明する
3月18日	2F食堂	誤嚥	屋食のおでんを提供した際、ちくわ・こんにやくが大きいと思いハサミを取りに行った所、その間にコンニャクを食べられてみえ詰まらせていた。すぐ背中をたたき、出てきたので大事には至らなかった。	提供してから大きいと気が付いた。	提供前に危ないと思う大きさの物は切るようにする。利用者にも、よく噛んで食べてもらうよう声掛けをする。
3月23日	利用者宅前	転倒	送車乗車時にて、利用者が乗車しようとしていた時、本来右手で手すりを握るところ、本日握る前に母が後方からいつも通り押し上げたため利用者はバランスを崩し、母に倒れかかるような状態になった。体重がそのまま母にかかり崩れるように転んでしまった。母を下敷きになった状態の為利用者は打ちどころがないように見えた。助けに入ったスタッフも利用者の体重に引張られ倒れこんでしまった。母は大丈夫との返答でしたので、そのまま送迎となった。	利用者が車に乗る体勢前に乗せようとしたことでタイミングがずれてしまった為、バランスを崩してしまった。	利用者が乗る準備ができているか確認して介助する。利用者とタイミングを合わせる。
3月23日	けやきの玄関	転倒	送迎後、けやきの家の玄関にて、ほかの利用者の車椅子のフットレストにつまづいて転倒した。	スタッフが利用者Hの右手を持って支えていたが本人は前方しか見ておらず、左足が車椅子のフットレストに引っ掛かり、尻もちをつくように転倒してしまった。	利用者Hは、足元や周りを見ていないのでスタッフが障害物になると思われるものが直進方向にあれば除けておく。または、近くにいるスタッフに障害物を除けてもらうように挟む。移動時は、支えられる距離について支援する。

ヒヤリハット件数と内容(内訳)	
(内容)	(件数)
逃走・脱出	件
ケガ	件
怒り	2件
パニック	3件
誤薬・薬飲み忘れ等	件
他害・自傷（噛みつき・爪たて等）	7件
物損・破壊・破損	2件
異食/異物混入	件
転倒（ぶつける含む）	19件
誤嚥	2
ヒヤリ（スタッフ・利用者）	7件
※内容により重複あり	合計：42件

事故報告	4件
苦情報告	1件

2025年度 事故報告一覧

発生日	場所	内容	報告	原因	対応
5月30日	春日井市廻間町・寺前橋	物損事故	けやきの家を出発後、特定の利用者の事を考えながら運転していた。寺前橋を過ぎた後に音がしてぶつけた事に気付いた。バスの左側に擦った傷ができ、現場の橋には白い跡がついた。途中で何度か車とすれ違い左側に寄っていたが、考え事をしていた為に集中できずぶつけてしまった。	スタッフが他事を考えてしまい。考えに気を取られてしまった。	みつばコミュニティ加入の自動車総合保険で対応。
6月4日	けやきの家駐車場	物損事故	興奮状態で1Fと2Fを行き来し、2Fにいる時に自身のカバンを持ちベランダへ出て、外階段の踊り場まで走りゴミステーション側へカバンを投げ、駐車場に停めてあった車の給油口に当たりへこませてしまった。持ち主が運転席に乗っている時に物がぶつかる音がして発覚。	興奮していたので、ベランダの鍵を開けていたが、他の利用者が開けてしまいそのタイミングで飛び出してスタッフが追いかけても止められなかった。	ベランダのドアを開けて出入りする利用者に、別の道からに変更してもらう。鍵をしておく。外へは1Fを通る 室内から。万が一投げたものが人や物に当たってしまわないように、ネットでベランダから物が落ちないように対応。
7月30日	旧19号線の坂下一丁目の交差点の手前20M	物損事故	車両の左側にハザードを点けて停車している車があった。一旦停止した後、ウィンカーを出し忘れ、左側から追い越そうと右側に前進した時に右折する車が後方から来ており、セレナの右側のサイドミラーが接触した。	後方確認不足による事故	相手側に謝罪し、車両保険にて対応させて頂く。
12月5日	けやきの家玄関	物損事故	来所時より不調、支援者Sが出動してきた玄関で後ろから突然髪の毛をワシづかみしひっぱった。その際めがねが飛んだ。	利用者の不調	朝は特に調子が悪いことが多い。スタッフの出動時間に過ごすエリアはある程度決まっているので、その場を通る時は注意して自身の身を守るように対応する。

苦情報告

発生日	場所	内容	報告	原因	対応
5月16日	四季の森の池	苦情	四季の森の池の中に利用者Sが裸で入っていた。そこに、管理人の方が、「裸で池に入っている人がある」と現場を目撃した人から通報があったと伝えに来る。まず、謝罪する。クレームを知らせてくれたことに対してお礼を伝え、知的障害があることを話する。管理人の方は、定期的(1回/月)に水質検査を行っているが、池の水はあまりきれいで無いため、池に入る子供にも極力入らないように伝えているとの事。できる限り、利用者Sに池から出してもらおうとつたえる。了解して引き上げられる。	特性がわからないまま外出をしたことで、事前の情報にない事が起きてしまった。	今回の件で、利用者Sが水遊びが好きだと分かったので、水遊びができそうな場所には極力立ち寄らないようにする。水に入りそうになったら止める。服を脱ぐのを防ぐ。

3.「輪来工房」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
生活介護事業所	自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

(1)総括

輪来工房は開所から2年が経過いたしました。このたび新たに3名の利用者を迎え、少しずつ新しい環境にも慣れてこられた様子です。また、これまでの利用者も日々の取り組みに慣れ、今ではお声掛けによって自発的に動ける場面が増えてまいりました。

屋外活動では畑作業と薪作業を中心に、野菜や花の苗植え、そして日課としての水やりや草取りに励んでおります。屋内活動では、月・火・金曜日の調理実習やおやつ作り、音楽活動、そして多岐にわたる製品づくり(紙のプレス、ポチ袋、版画カレンダー、レジン制作、包装など)に取り組んでまいりました。完成した製品は、元気ショップとして福祉の里や春日井市役所で販売しており、地域の方々と交流できる大切な場となっています。

「けやきの家」との合同イベントでは、事前に創作した飾り付けで会場を彩り、当日は音楽を通じて楽しいひと時を過ごすことができました。

今後も、皆様が安全・安心に過ごせるよう支援に努めてまいります。

管理者

各報告

①外出全体まとめ

新規利用者の増加に伴い、一人ひとりの様子を考慮しながら、外出メンバーや担当スタッフの再編を行いました。試行錯誤を重ねる中で、少しずつではありますが、各チームにまとまりと一体感が出てきています。

サービス管理責任者

○月曜日外出チーム(外出メンバー5名)

4月から11月に外出メンバーが変更となり、スタートしました。

主な行き先は森林公園や小幡緑地、定光寺公園などで、散策を中心に活動しています。寒い日には「やすらぎの森」の休憩室を利用し、室内でブロック遊びや絵本を楽しんで過ごすこともありました。

買い物の日には、唐揚げや牛焼肉、ステーキなど、それぞれがお好みのお弁当を選び、潮見の森のベンチでいただきます。外で食べるお弁当は格別のように、皆あつという間に完食されていました。食後は、池の周りを散策してリフレッシュしています。坂道では利用者によって歩行ペースが異なるため、スタッフ2名が前後で見守りを行い、一人ひとりのペースに合わせて安全に昇り降りができるよう配慮しています。

午後はドラッグストアでおやつを選び、少年自然の家の湖畔広場などで休憩時間を過ごしています。移動中の車内では、お腹も心も満たされて、眠ってしまう方もいらっしゃいました。

月曜外出は非常にまとまりのあるチームで、毎週楽しく活動しています。これからも、より充実したひとときを提供できるよう努めてまいります。

月曜日外出担当

○火曜日出外チーム(外出メンバー4名)

レストラン外食では、市内外のショッピングモールを訪れました。フードコートでは照り焼きチキンバーガーや丼物など、それぞれ好きなメニューを笑顔で頬張り、「おいしかった」と満足げな様子でした。飛行場に隣接したお店では、食後に自衛隊のジェット機や輸送機の飛行を見学。飛行機好きの利用者は「F14 戦闘機が飛んでいるね！」と興奮気味に喜んでおられました。

お弁当を持つの外出では、のりタル弁当やロースかつ丼、洋風バラエティー弁当など、それぞれの好みに合わせたメニューを楽しみにしておられ、「うまい！」という嬉しい声も聞かれました。

おやつタイムには、ドラッグストアやショッピングモールで好きな食べ物や飲み物を購入し、お店のスペースや公園で一緒にいただきました。陶史の森では、金網フェンス越しに近づいてきた羊に、ある利用者が「ごめんなさい、(自分だけ)おやつ食べて」と謝る微笑ましい場面もあり、楽しいひとときを過ごしました。

また、年始には利用者の皆様の希望で複数の神社へ初詣に出かけました。利用者に道を案内してもらいながら、美しい境内の風景に心が癒やされるのを感じたのが印象に残っています。

どんぶり会館や小幡緑地、スカイワードあさひなど、多くの場所で散歩や展望台からの景色を楽しみ、心身ともにリフレッシュすることができました。今後も、皆様に楽しく安全に外出していただけるよう努めてまいります。

火曜日出外担当

○水曜日出外チーム(外出メンバー4名)

今年度は、スタッフや利用者のメンバー変更があり、慣れるまで落ち着かない日が続きました。その為、安心安全に外出が出来るように体調の確認方法とタイミング、行き先、おやつを食べる時間や場所等、気をつける内容について利用者と一緒に話し合っ

て決めました。
定光寺の森林交流館、可児のやすらぎの森、土岐の陶史の森、山の中等、静かな場所が主な外出先でした。何度も訪れている場所で、散歩コースや休憩場所を覚えているため、声掛けをしないと仲間を置いてどんどん一人で進んでしまうこともありまし

た。
他にもいろんな事がありましたが、1年通して楽しく過ごせたと思います。

水曜日出外担当

○木曜日出外チーム(外出メンバー5名)

今年度も、利用者のメンバー変更やスタッフの入れ替えもありバタバタする事が多かった年でした。その中でスタッフが大事にしたのは、全員で外出を楽しむ事でした。

皆で意見を出し合っ行って行きたい場所を決め、その上でおやつの買い物や昼食場所を提案し、行先を決めています。月2回の買い物の時には、メンバー全員揃っての外出を目指し、外出へなかなか参加できない利用者にも外出の雰囲気を感じてもらえるようにお弁当を選んでもらっています。

外出を通じて利用者の新たな発見もあり、スタッフにとっても楽しい時間でした。

木曜日出外担当

②外部講師 ホースセラピー

今まで普通に餌やりを出来ていたのに、急に後ずさりをする仲間がいるなど少し変化がみられた年でした。馬と関わる事は皆さん楽しみにされているようで、他の取り組みに比べ、準備や移動が早いように感じます。

ホースセラピー担当スタッフ

④ 看護師業務報告

今年度は新たに3名の利用者が入所されました。毎年実施している歯科検診、健康診断、内科検診については、引き続きけやきの家へ移動し実施しました。

新規利用者の3名にとっては初めての検診であり、不安も大きかったと思われます。そのため、十分に実施できなかった項目もいくつかありました。今回の反省点を振り返り、来年度は事前の準備や環境調整を行い、不安を軽減しながら円滑に検診を実施できるよう努めていきたいと思います。

精神科医の牧野先生によるカウンセリングは継続して実施しています。新規利用者3名を含め、利用者全員が輪来工房で安心して過ごせるよう助言をいただき、その内容をスタッフ間で共有し、日々の支援に活かしています。

利用者一人ひとりの特性や状況に応じた関わり方を検討し、早期に変化へ気づけるよう情報共有を密に行いながら、安心できる環境づくりに努めています。今後も各事業所と連携を図りながら、利用者の健康管理と支援の充実に努めていきたいと思ひます。

④作品展示まとめ

今年度は12月に市役所、3月にむがむちゅう展で作品を展示させていただきました。

市役所では、クリスマスツリーを出展し、むがむちゅう展では羊をテーマにしたクイリングの創作作品を出展しました。

今回も利用者が得意なこと、出来ることから考えて作品を作り上げました。会場に来て下さった皆さんからの手書きの感想もみんな読んで嬉しく思いました。ありがとうございました。

作品展示担当

⑤生産活動まとめ

○紙すき

けやきの家と輪来工房の2ヶ所で作業を分担して制作しています。

輪来工房では、ポチ袋などの製品作り、完成品の袋詰めなどを行っています。

利用者の得意なことを活かせるように作業を分担していて、完成した時の喜びは大きいようです。

紙すき担当

○薪作業

輪来工房での活動は、主に玉切りした木を薪割り機で薪サイズに割り、乾燥させ、10kgの束作りしています。また、束作りに必要なバンド作りも行っています。原木の仕入れや販売は、けやきの家と協力して一緒に行っています。

今年度から新しく活動参加された利用者もすぐに薪割り機の操作を覚え、今では1回の活動で玉切りした木を10本以上割って薪にされるまでになり、大事な戦力として活躍されています。

薪担当

○缶納品

今年度から、缶を納品する場所が変更になりました。そのため、作業や行動が変化するのではとスタッフは心配でした。しかし、缶作業に参加している利用者は気にすることなく、今までと同じように自分の仕事と思って自ら缶を運んでくれたので、見ていて安心でした。

缶担当

○畑作業

今年度は、小松菜・ミニレタスを育てるところから始まりました。畑の耕し、種まきや水やりなどの世話にだいが慣れてきた様子で、作業がスムーズになっています。花植えでは、位置を伝えとサツと運び、スタッフの細かな指示がなくても自分で考えて植えることができます。

夏には、新しくオクラや他にも去年とは違う野菜を育てました。また、冬場は、植えた野菜がなかなか育たなかったのも、土の栄養をよくするために牧場へ肥料を買いに行き、みんなで肥料を混ぜて耕しました。利用者は、いつ収穫するのか気になっていたようでした。

畑担当

○レジン

レジン液がこぼれないように型に入れ、自分たちで作った押し花や和紙、ラメなどを中に埋め込みオリジナル作品を作りました。細かい作業ですが、皆さん集中して作業し、マグネットやストラップ、クリップ、ピアスなど、作る種類も増やすことができました。

その他事項

① 会議等

・職員会議(月 1～3 回) 計 26 回※けやきの家と合同で職員会議を実施

＊職員会議では、利用者ケース検討(5 回)、担当業務報告、イベント打ち合わせ、各委員会報告、ヒヤリハット報告の共有、その他連絡・検討事項が主な議題内容

② 防災訓練

避難訓練(12 月・3 月)実施

12 月: 午後の休憩中に調理室から出火し、延焼することを想定し、駐車場への避難・消火訓練

3 月: 地震発生を想定、机の下に隠れてからの避難・応急手当

避難訓練を繰り返す事で、比較的短時間で避難場所へ移動することができました。反省の中には、「避難してください」という声が聞こえにくかったという意見があり、それぞれの活動場所でもしっかり伝わるように別の音で知らせるなど検討していきます。消火器を使用した消火訓練も、スタッフ・利用者みなで一緒に行い、的を目掛けて水消火器を使用しました。

救護法では、利用者に協力してもらい、実際に右手を負傷したことを想定して新聞を丸めて添え木にして固定する訓練を行いました。

地震の発生時に机にスムーズに隠れることができない方、普段と違うことでトイレに駆け込んでしまう方などイレギュラーなことへ対応できるように継続していきます。

(2)体制

体制		2025/4/1時点		2026/3期末	
		人員	常勤換算数	人員	常勤換算数
管理者	常勤	1	0.5	1	0.5
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1
	非常勤				
生活支援員	常勤	1	7.1	1	7.4
	非常勤	19		20	
調理員	非常勤	1	0.1	1	0.1
運転手	非常勤	6	0.7	6	0.8
看護師	非常勤	1	0.4	1	0.4
医師	非常勤	1	0.1	1	0.1

利用日数と利用率

2026年3月31日時点

区分別	区分3	区分5	区分6	計
男性	1	8	10	19
女性		1		1
合計	1	9	10	20

利用者数

月	開所日数	総開催日延べ人数	総利用者延べ人数	利用率
4月	21	441	360	82%
5月	20	420	328	78%
6月	21	420	331	79%
7月	21	420	347	83%
8月	17	340	266	78%
9月	20	400	325	81%
10月	22	440	350	80%
11月	18	360	288	80%
12月	20	400	322	80%
1月	19	380	300	79%
2月	18	360	291	81%
3月	21	420	336	80%
合計/平均	238	4801	3844	80%

※不定期利用の方は利用されない日数含む・小数点以下第2以下四捨五入

2026年3月31日時点						
年代別	10代	20代	30代	40代	50代	計
男性	3	3	3	3	7	19
女性			1			1
合計	3	3	4	3	7	20

2026年3月31日時点				
総契約者数	20名	割合	退所者	2026.3.31時点
男性	19名	約95％	男性	1名
女性	1名	約5％	女性	

(3)ヒヤリハット、事故報告まとめ

2025年度 ヒヤリハット報告一覧

発生日	場所	内容	報告	原因	対応
4月2日	室内	盗食	昼食時、利用者Nの向かい側にスタッフの昼食をおいてお茶を持ってくるため、席を離れた。戻って来た時に利用者Nさんが立っていた為、どうしたのかと思い声をかけ、確認するとスタッフの昼食のお肉が1/4程かじられていた…。利用者Nが食べてしまった。	利用者Nが他の人の食べ物を取ってしまう…という認識がなかったのと、すぐに戻ってくるので大丈夫だと思ってしまった。	利用者なら大丈夫と油断せず、離れた場所に置いておくようにする。その場を離れる時は他のスタッフに声をかけるようにする。
4月11日	エスクァイア車内	他害	朝から不穏の為しばらくトイレに行かれる。その後落ち着いて戻って来られる。外出の為、車内に入る手前で利用者Kが不穏になり更衣室へクールダウンその後頓服を服用する(10:40)。出発して高蔵寺高校手前でスタッフが利用者Oを注意した際に利用者Kが他の利用者Kの左手に爪を立て、傷ができる(小さい傷)。	職員が利用者Oを注意したことにより、それに反応した利用者Kが怒り、隣の利用者Kさんに手を出してしまったのが原因と思われます。	車の座席の変更、利用者Kは一番後ろの席にする。隣に職員が座り対応する。できる限り利用者Kの前で他の利用者を注意しないように心掛けることを注意していきたいと思います。
4月30日	キッチン	盗食	キッチンに入り、冷蔵庫のある部屋の鍵を開けて入り、マーガリンをスプーンですくって食べた。冷蔵庫にチェーンはしてあったが、すき間から手を入れてマーガリンを盗食。	冷蔵庫にチェーンはしてあったが、開けて手の届く所にマーガリンが置いてあった為、食べられてしまった。利用者が通所してきて、人が多く、スタッフが少なかった為利用者Kがフリーになってしまった。	マーガリンを手前ではなく、奥の方に置くこと。利用者さんから目を離さないようにすること。
5月9日	室内	他害	13:30頃玄関先で外に出るように利用者KIに話しをし出ようとした所利用者Kが、ソファー近くにいた支援員がその場を離れ、ソファーに座っていた利用者HIに利用者Kが掴みかかろうと向かおうとしていたので、それを止めて誘導する。	わかりません。外に行こうと言ったことが悪かったのか、私自身にはわかりません。	その場の対処の仕方が悪かったのか自分でもわかりません。どのような対処法があったのかいろいろと考えていきます。
5月13日	ゲンキー店内	自傷	調理の買い物にゲンキーへ行く。本人に確認してたところ、「買い物に行く」とのことだったので、店内へ。中へ入ると座り込む。スタッフの声掛けにしばらく動かなかったが、「輪来に帰ります」などの声掛けに動いてくれる。一緒に出口に向かった時に急にまた怒り出し、自動ドアに頭突きする。“やめてください”と近くのベンチに座ってもらったが、怒ってスタッフを叩いたり、蹴ったりした。窓にも頭突きしようとしたため、両手を持って”帰ります”と車へ誘導。車内でもしばらく怒っていた。	買い物自体が初めてだったのか・・・？初めてだったら、何をするか不安だったのかもしれない。店内のざわざわした感じが嫌だったのか・・・。自分の思った買い物と違ったのか？	本人から”嫌だった”との話があった為、“買い物”が嫌だった？”と聞くと”嫌だった”との返答。”次は買い物なしにしましょう”と伝えと”はい”と言っていた。次は車内待機するか、輪来に残るか・・・。

発生日	場所	内容	概要	要因	対策
5月19日	相談室の壁	自傷	音楽参加中に声をすこし出しながら相談室に行く。その後、大声を出したり床に頭を叩き付けたりの自傷がある。クールダウンのため、1人で過ごしてもらっていたら、再び激しい自傷があり、その際に壁に穴を開ける。	音楽の演奏の順番がいつもとちがいが混乱した。(自分の好きな曲が流れるはずだったが違った) 周りや楽器の音が大きすぎた。	演奏の順番はある程度決めておく。
6月6日	福祉の里 浴場前の机・椅子・窓	自傷	入所式中、入場してから5分程で和室入口前の椅子に座りに行く。(最初に座っていた場所。)しばらく座っていたが、職員Sが新規利用者の紹介などをしている間に、スタッフOと福祉の里2階の受付近くの椅子に移動する。入所式が終わり、音楽が始まる前に、職員Sが母と一緒に利用者Hさんに声を掛けに行く。「そろそろ音楽が始まるから、みんなの所に戻ってみる？」に”外にいる”だったので、「さっき座っていた場所まで行かない？音楽聞こえるよ」に動き始める。階段を降り、売店の前あたりで、床に座り込んだ為、近くの椅子を指差しながら「あそこに座ろう」と声を掛けると、すぐそこに移動する。利用者Hを挟む感じで、母と職員Sが座る。「頑張ったね。」としばらくそこに座っていたが、急に利用者Hさんが大声を出して走りだす。後ろを振り向きながら、走るため、追いかけているか確認している様子。そのため、走らず追いかける。母の”利用者Hの下の名前でよぶ”にも止まらなかった。入浴場の手前の椅子に座って、怒り始めるが、土足厳禁の場所なので、「靴脱いで」に靴を脱ぐ。それ以外声を掛けず、そのままそこにいるが、テーブルや椅子をガングンとし始めるので、少し離す。床に座って柱を手で叩いたり、頭をガングンしようとするが、本人の思い通りにならなかったのか、離れてあった机に手を伸ばし、押す。(距離があつたため、思いつきりは押せなかったよう)押された、机が窓に当たる。机の傷も窓も割れることはなかった。その後も15分程度、落ち着いては、叫んで頭や手で床を叩いていたが、その後、落ち着く。落ち着いてきたタイミングで、カギを取りに職員Sだけ会場に戻り、すぐに動ける状態を取り、本人に「帰る？」と聞く。”帰る”とのことだったので、「輪来工房かお家どっちがいい？」に”輪来工房”と答えるが、行こうと顔をあげると、母の顔見て、「お家帰る」と言う。母も自宅でも良いとのことだったので、そのまま、自宅へ帰り、荷物は後で届けることにする。	会場に着くまで、ニコニコしていたが、母を見て、顔がかわる。(人も集まってきたので、それもあるかもしれない。)以前のスーパーでの怒りも、母を見てからだったため、母を見たら帰れると思うのかもしれない。朝、入所式の説明はしていたが、思っていたのと違ったかもしれない。初めて輪来工房・けやきの家のイベント参加で、人数の多さに驚いたのかもしれない。嫌なことを我慢したのに、また連れ戻されると思ったのかもしれない。	母と一緒にいた。福祉の里の人には離れる時に声を掛け、その後、管理者Yからも声を掛けてくれた。(「大丈夫ですよ」とのことだった。)
6月20日	奥の部屋手前カラーBOX	物損	13:15～身体を動かそうに参加を誘うが拒否されて奥に部屋へ行かれる。曲のリクエストがあり、2曲YouTubeでかけた後急に怒る。その時にカラーBOXを足で蹴りを入れ穴があいてしまう。スタッフHさんに声を掛け奥で休むように伝える。帰り別の便の車に乗ってしまい、車を乗り換えるよう伝えたと車内でも怒る。他のメンバーを変えて一人だけで送る。	今日は、一日不穏で11:00頃も怒っていた。連絡帳には朝5時に目が覚めてずっと起きていて寝たかったということも原因かなと考えられる。	怒ったら周りの利用者の安全確保とご本人には奥の部屋に行って頂く用伝える。カラーBOXは、厚紙で補修する。

発生日	場所	内容	概要	要因	対策
6月24日	相談室の壁	物損	来所して、木工室に入り黒マットで休憩。30以上寝てた。起きてトイレに行き、型抜きをして、また黒マットで休憩。11:40頃、突然「ごめんなさい、ごめんなさい」と何度も言いながら、走って中に行き、相談室に入る。その後は声も出さずに相談室にいた。12:10頃から「ごめんなさい、ごめんなさい」と言い出し、12:15頃「ワー!!」と叫び始める。相談室から、顔を出して叫んでいたのに、1人の空間にするために、多目的②の出入り口にパーテーションを置く。怒っている声が10分程続いたため、職員Sが声を掛ける。(持続力はなく、怒っておさまってを繰り返す)「大きい声!」(叫び声に近い)と言われたが、それには答えることはせず、利用者Hの音が収まったところで、”叩くのは床にしてね”と声を掛ける。床を叩いたり声を出したりを繰り返していたが、あまり声を掛けるのも…と思い、少し離れる。配膳をしりしながら、様子を見てたが音が激しくなってきたので、もう一度声を掛けようとする、多目的②と相談室の通路まで出てきて、間に立てていた、パーテーションを叩き倒そうとする。その手前で、マットの上に座っていた利用者Oが気付く、倒れそうなのを押さえる。利用者Oと一緒に起こす。起こしている間に、利用者Hは相談室に戻り、壁を叩き、壁に穴が開く。反対側の壁も叩いたりしていたが、止めることはできず。何度か「床!」というとその1・2回だけは床を叩くが、壁に戻ってしまう。しばらくしてから、静かになり20分程度してから、相談室の中に入ると、穴が開いているのは1カ所だが、その上の部分・横の部分もへこんでいた。本人はすでに、いびきをかいて寝ていた。一午後からずっと寝ていた。	何かを思い出した?フラッシュバックか?一人になり行ったこともあり、30分以上声をかけずにそっとしていたが、急に怒り出したこともあり、原因はわかりません。母へ連絡したところ、このところ2度寝をあまりしてない。自宅でも少しの事で怒る。とのこと。眠かった?	母から、怒っている時は、あまり声を掛けない方がいい、とのこと。「そうなんだ」なども、ヒートアップしていってしまうとのこと。
6月24日	玄関目廊下	他害	外出先から一旦輪来工房に戻り給食を食べてから、再度外出しようとした際、本人はまだ喋りてかかった様で「行くよ」と言われたのが嫌だったのか爪を立て始める。話題を変え、笑顔が戻ったので安心していたところ、急に近くにいたスタッフの背中を押し、衝撃が強く尻もちをついてしまう。トイレに誘導しクールダウンして頂く。クールダウンしてトイレから出て来たが、またフツフツした顔をしていたので頓服薬を飲んで頂く。	本人はまだ喋りてかかったが阻害されてしまった。本人の思い通りにならなかった為、爪を立てた時点でトイレに誘導しなかった為二次被害が起こってしまった。	本人が納得した頃を見計り声をかけをする。爪を立てた時点で一人になれる空間に誘導しクールダウンして頂く。
6月27日	福祉の里 視聴覚室	他害	DVD作品で2枚組のうち1枚が終わったので、入れ替えを頼みに受け付けに行っている時怒り始め、対応した支援者に爪をたてひっかき傷をつけた。	途中で終わった様に感じた予想する。	詳しく説明するか、2枚組は止める。DVDにする。
7月2日	相談室の壁	物損	声を出して怒り始めました。最初は大きな声や床をドンドンしていましたが、しばらくして壁を叩いてしまい、穴が空いてしまいました。	ハッキリした原因は分かりません。到着してすぐ部屋に入りしばらくすると声を出してイライラしている様子がありません。(人が増えて、ざわざわしていた)朝からあまり調子がよくなかったかもしれません。	ご家庭で用意していただいた写真を渡してみました。がすこし見ただけで”いらない”と返されてしまいました。壁を叩いてしまった時に”それはやりません。けらないでください”と注意すると”はい”と返事をして、そこからは落ちついていましたが…。そのあとまた大声を出して、壁・床をドンドンして怒る。(1時間ほどしてから)
7月10日	壁	自傷	牛乳パックの紙ちぎりを勧め「やります」の返事の後、23枚やってすぐ「うるさいです」と怒り始めました。スタッフSがその場(小部屋)から離れた後、小部屋の横の通路の壁に頭を打ちつけました。そのため、壁がへこみました。	周囲の声や、やりたくない作業の誘い声がうるさかったからだと思います。	作業への声掛けの工夫
7月14日	利用者自宅	スタッフ(ヒヤリ)	送迎時、車から降りずに利用者Mが家に入っていくのを確認してからその場を離れる	母の車があった為、大丈夫と思ったので降りずに対応してしまった。	どんな時であっても車から降りて一緒に玄関まで行き一声かけて、家の中に入るのを見届ける。
7月16日	輪来工房内	物損	PM12:15奥部屋にて壁紙を剥がしてしまうことに気付きサビ管に報告する。スタッフSから壁紙剥がした壁紙の清掃と補修し段ボール付テープ止めをして頂く。	食事中で利用者Nをしっかり見てなかったのが原因です。	利用者Nの動きをしっかり確認し対処することが必要と感じました。これから気を付けていきます。支援者として毅然とした対応をしたいと思います。
7月29日	輪来工房内	パニック	看護師が血圧測定の為入室、測り方を説明しお手本を見せてから測定しようと、腕に加圧シートを巻きスイッチ入れると「こわい、いやだ」と言ったので即中止したが怒り、棚にあったプラスチックケースや箱を蹴る。大声出して収まらず椅子も蹴り飛ばした	血圧測定に加圧シートで腕をしめつけられる感が怖かった	前もって保護者に可能なこと・嫌(苦手)な事を細かく確認しておく

発生日	場所	内容	概要	要因	対策
8月6日	輪来工房 壁	物損	給食を取りに行き、キッチンに運んだあと、スタッフの隙を見て小部屋の方へ。他の利用者に呼ばれ、スタッフが見に行くと壁が剥がされた状態でした。椅子に座ってもらい少し厳しく注意し、ほうきとちりとりを渡して、片付けをしてもらいました。本人はとても笑顔	給食を取りに行ったスタッフKも他の事をやっていたり、室内にいたスタッフも他の利用者を見ていたりして、利用者Nを見ているスタッフが一時的にいなかった為。壁が目につしまう状況だったのもある。	壁が見えないようにパーテンションを置くようにする。利用者Nから目を離さないようにする。スタッフ同士で声をかけ合う。
8月18日	相談室の壁	物損	音楽に参加中、最初は穏やかな表情で参加されていた。スタッフがマラカスを渡しても、笑顔が見られていました。スタッフが声を何回かかけたからか、少しずつ表情が固くなり、他のスタッフがあまり声掛けしないように伝えようとした時にマラカスを投げ、怒りだす。小部屋へ移動するよう声をかけて相談室に入ってもらったが、怒りが収まらず、壁を蹴ってこわしてしまった。	本人に、声を掛けすぎってしまったことが原因と考えられます。朝早く起きていたので、寝不足の疑いも考えられる。	声を掛けることを何回かしないようにする。今回は、本人と関わらない職員が入った為、事前に説明し支援に入ってもらうようにしたいと思います。
8月28日	相談室の壁	物損	相談室で寝たりまどろんだりしている時、テンションの高い利用者が相談室に入り、飛び跳ねや奇声を上げるその様子に反応して、壁を足で蹴ってへこみができる。	テンションの高い利用者とは、騒がしい事が苦手な利用者が一緒になってしまった。	テンションの高い利用者とは距離をとる。
9月8日	奥の部屋の壁	物損	食事後の器を持って行く時に、他の利用者の声に驚き、器と箸を投げてしまう。声をかけて奥の部屋に行って頂く。その後「いやだ」「うるさい声」と言い、怒り壁を足で蹴とばしてしまう。壁に穴があいてしまう。	他の利用者の声に反応し、怒ってしまったことが原因だと思われます。	出来る限り、1人になって頂くよう配慮していく。大きな声を出している利用者を別の部屋に移動して頂くような対策をしていきます。
9月8日	輪来工房内	怒り	小部屋にいた利用者Hが怒り、床に足を打ちつけたり大声をだしてきて、出入口にあったパーテンションを倒す。倒れたパーテンションが近くにいた利用者Mの頭に当たった。	他の利用者の声が嫌だった。「やだやだ、大きな声」を何度も言っていた。	パーテンションや危険なものは、近くに置かない様にする。小部屋の出入口に利用者が座らないようにする。
9月30日	輪来工房内	他害	朝から調子が悪く、9:50頃急に職員の髪の水を引っ張る。10:20頃ラジオ体操途中で水分補給しに行った他の利用者を職員が注意した所を見て急に怒ってしまう。12:20頃食事後職員を追いかけるのを止めて急に怒る。その後、側にいた利用者を急に押す。15:05頃水を飲みたい為、水筒を持って水飲み場(トイレ)に行こうとされる。それを止めると怒り、他の利用者を押す行為があった。	本人が行きたい所を止めたからと思います。	衛生面に配慮し出来る限り本人に寄り添い、対応する。早めの頓服服用する。
10月1日	相談室	怒り・パニック	小部屋でマットをひいて横になっていたが、小部屋の入口に他の利用者Nが来て、”利用者H怒る？”など少し挑発するような発言があった。利用者Nを他の場所に移動させようとした時に怒り始め、壁をたたいたり、頭突きしたりする。部屋から出てきて、また壁をたたいたため、トイレに行くよう促す。が、トイレでも怒っていた。一度小部屋に戻ったが、また出てきて椅子を投げた。	他の利用者Nが小部屋の入口で、色々話していたのと、”利用者H怒る？壁に穴あける？”など少し相手を挑発するような発言がイヤだったのではないかと思われる。	他の利用者Nを小部屋に近づかないようにする。入口にカーテンなどで目隠しをして、入る前に止められる様にする。
10月7日	エアポートウォーク	スタッフ(ヒヤリ)	エアポートウォークにて13:20頃1Fにおやつ一緒に買いに行った職員より、排便を漏らしたと連絡あり、1Fに戻ると立って待っていたのでトイレへ一緒に行くと言ったがズボンが排便が付着していたので、支援員の判断でズボンとパンツを買う。トイレで待ってもらい、足に付着した排便を取ってもらい、買ってきたパンツとズボンを交換して対応を行う。	3Fのエアポートウォークのデッキにてウロウロしていた。利用者を見て飛行機見るのが飽きたと思い女性職員に「おやつを買ってきてほしい」と伝え行ってもらった。その際に排便が漏れていたとは思わなかった。	トイレの声掛けをおこなう。本人がトイレ行くことを伝えられなかったので、漏らしたと思われます。今後着替えを持って行くことをしたいと思います。
10月30日	輪来工房内	パニック	けやきに家で内科検診を受けた後、仲間の大きい声に反応し、となりにあった椅子を押したり、床を足でドンドンと力強く踏んだりする。	他の利用者の大声が嫌だった。他にも「シー」と言うジェスチャーも苦手で盛り上がってしまったため。	なるべく静かな環境にいられるようにする。
12月5日	けやきの家駐車場	スタッフ(ヒヤリ)	14:45けやきの家へ食缶運びで待機して頂く。ドアを鍵でロックする。2Fへ食缶を持って行き車に乗った時は助手席の鍵を開け外に出てしまう。けやきの家の入口の外におられることを確認し車に乗って頂きました。	車のロックは掛けたが、まさか車から鍵をあげて出ることが想像していなかったので、食缶運びと一緒にして行動して頂きたいと思う。	車の中に待機をさせず、外で一緒に動くこと、目を離さないようにしたいと思います。
1月30日	車のドア	スタッフ(ヒヤリ)	帰りの送迎時、シートベルトをつけてる途中で職員が”ドアを閉めますね”と声をかけて閉める。ホームに着く直前に本人より「さっきドアに挟んだけど大丈夫だったよ」と言われ職員が「挟んだんですか」と確認すると「挟まってないよ、挟まれそうだった 危なかった」とのこと。ホームに着き降りてしまったのでしっかりと確認できず	シートベルトをされている時にドアを閉めた為	ドアを閉める時には手が肘など安全な位置にある事を確認してゆっくり閉める
2月16日	輪来工房	利用者(ヒヤリ)	来所してすぐトイレへ駆け込まれました。右足のズボンがまくってあり、見ると破れていたのので、輪来工房のズボンを出して着替えをして頂きました。	送迎運転手に確認した所、乗り降り時や車内ではズボンが破れた音はなく、他の利用者と揉めた様子もありませんでした。	来所された時に、ズボンが破れてないか確認する。異常等が見られた場合には報告して頂くようにしていきます。

ヒヤリハット件数と内容(内訳)	
(内容)	(件数)
逃走・脱出・見失い	0件
ケガ	0件
怒り	2件
パニック	3件
誤薬・薬飲み忘れ	0件
他害・自傷（噛みつき・爪たて）	9件
物損・物損未遂	8件
異食・盗食	2件
転倒（ぶつける含む）	0件
誤嚥	0件
ヒヤリ（スタッフ・利用者）	5件
※内容により重複あり	合計： 29 件

事故報告	0件
苦情報告	1件
要望報告	1件

発生日	内容	報告	ヒアリング	確認	対応
10月24日	苦情	10/24(木)14:50頃 匿名の男性から通報有 焼山公園で5名くらいでいたグループのスタッフと思われる人が、男性(白髪の小太り)と女性が1名ずついた。 よく自分も焼山公園を利用している者だが、見ていて見苦しい、不愉快になる光景を見たので、けやきの家かわからないが電話した。 ハンディキャップがある方を支援していたと思うが、少し離れた所に靴があり、コンクリートの床に正座している人に対して正面からスタッフの男性が正面から立っていた。注意していたのかわからないが、途中でパンの模なものを睨えさせた。 気になって声をかけようと思ったが、2人でトイレに入っ ていったので、声は掛けられなかった。また、2人で入った 状態で鍵を閉めていたのにも不審に感じた。 事実確認しますと伝え、電話を終える。番号は非通知で 番号もいわれませんでした。	外出のスタッフに確認の電話をいれる。 簡単にどこにいるかなどの確認をする。 焼山公園へ行き、おやつにお煎餅を食べた。利用者さんは椅子に座らず、立ったままおやつを自分で食べていたが、9割程度食べた所で、そのまま歩き始める。 少し歩いたところで、自分で靴を脱ぎボイボイツとして、正座をした。 なかなか立ち上がらなく。手に持っていた残りのお煎餅をスタッフが渡す。 食べ終わったので、近くのトイレに誘導した。	輪来工房に戻ってきてからの確認↓ グランド側の駐車場のところにある、小さい屋根のあるベンチのところで、おやつタイムにする。 椅子に座らず、立って食べる。お煎餅をスタッフが割ってほとんどをスタッフが介助を行う。「しっこ」と言いながら、本人が食べながらフラフラ〜と歩き始める。 自分からトイレ(身障者用)に入り、介助の為、支援者も一緒に入る、その後みんなのいた東屋にはついたが、二袋目があった為、東屋の椅子に座って食べる。スタッフは立っていた。スタッフ介助にて全部食べ、お茶も飲んだ。 今日は靴を脱ぐことは多かったが、正座することはなかった。しゃがみ込みことはあったが、焼山公園で長いことしゃがみ込んではいない。	おやつを食べるときは、座って食べる(食べ歩きしない) 介助側も横に座るか、しゃがむ。急な走り出しがあるかもしれない為、いつでも走れる準備をする。 自分でおやつを食べるように促す。
7月14日	苦情・要望	16:40頃、電話あり。今日は母が自宅に居て、利用者Mが家に入ってきたので、いつものように挨拶しようと思っ て家をでたが、すでに車の姿がなかった。車から利用者Mを降ろして、そのまま行ってしまったのではないか？家に入るまでちゃんと確認しないの？おばあちゃんも耳が遠くなっ てきていて、気付かないかもしれないし、カギが開いてなくて、入れなかったらどうするの？との内容	今日の帰り送迎、スタッフに確認。利用者が車から降りて、ポストの中を覗いて、家に入ってしまったまでは確認して、出発した。車に乗ったまま、それを見ていたとのことだったので、車から降りて一声かけて見届けるよう伝える。	車から降りて、利用者Mが家に入っているタイミングで、門の所から「利用者さんに、ただいま帰りました」と一声掛ける。	もう一度周知します。

4.「第1けやきホーム」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
障害福祉サービス事業	共同生活援助事業(介護サービス包括型)

(1)総括

4月にサービス管理責任者が交代しました。5月には10年ほどホームでキャリアを積んでいたスタッフが産休に入り、皆が頼っていただけに、急に居なくなった穴は大きく感じました。そこを新しいサービス管理責任者が一致団結して更なるより良い支援を行えるよう7つのホームを何度も周り奮起し一人ひとりにあった支援を目指すことを再確認することを念頭にスタートしました。もっともっと利用者に向き合い、見て感じたことを、スタッフ同士共有し、情報伝達ができる環境を整えました。ipadを使用し、速やかに情報を確実に伝えることを目指しました。最初は決まったスタッフだけが情報を流すようになってしまいましたが、今は、ほとんどのスタッフが読んで、いち早く利用者の情報をつかみ取れるようになってきました。新しい利用者も二人増え、早くホームに慣れてもらえるよう何度もケース会議を行いました。

管理者

2025年度は5月途中にしらかばより1名退所。9月にいまじんへ1名入居。1月にしらかばへ1名入居と、利用者の入退去が多い年でした。新任の私としては目まぐるしく変化していく一年となりました。新たに入居をいただいた、2人には、新たな生活の場所として、一日も早く「我が家」となっていただけよう、スタッフ一同協力しあい、各々の「自分らしさ」を大切にしながら取り組ませていただきました。また、新たな仲間を受け入れる利用者側の変化にも注意を払い、いまじんらしさ、しらかばらしさも大切にしました。

利用者の高齢化問題と共に、スタッフの高齢化、スタッフ不足問題も同時に発生しており、安心・安全な支援の確保にむけ、各々の価値観の確認や接し方、取り組み方、支援内容の見直しなど、日々の変化の共有と共にあわせて、スタッフ間での協議・検討・相談をおこなってきました。今後もより良い支援提供に向け、スタッフと共に研鑽を積んでいきたいと思います。

サービス管理責任者

各ホームのまとめ

【ゆいまーる】

上半期は、スタッフの人事異動によっていろいろと変化の多い時期で、利用者には何かとストレスがかかっていたかと思いますが、大きく乱れるようなことはなく、むしろ一部の利用者にとっては、生活リズムの改善につながる良い機会となりました。

下半期は、利用者・スタッフともに風邪やコロナにかかり、一時期はホーム内で感染拡大防止対策を実施する事態にまでなりましたが、利用者間での感染拡大は防ぐことができ、被害を最小限に抑えることができました。

次年度は、より利用者の平穏を維持できるよう、ホーム内の温度や湿度の管理を徹底しつつ、生活リズムが崩れないよう、見守っていききたいと思います。

ゆいまーる担当

【いまじん】

2025年度は秋に利用者が1名新規入居され、2Fの予備室を新たな居室として活用しました。

他の利用者には特に影響はなく、会話はほとんどありませんが穏やかに受け入れてくれました。それぞれの関係性にも特に影響はありませんでした。ホームの泊りに関わるスタッフの変動はありますが、利用者も慣れてきており、受け入れも早くできてきています。

生活面では、利用者同士の談話はほとんどないものの、リビングでは互いに意識し合って、楽しく過ごせています。夕食後は、それぞれの居室に入り、好きな DVD や TV を観たり、ゲームをしたり、スタッフとの会話を楽しんだり、各々の余暇時間を楽しんでいます。

健康面では、服薬の量や通院の回数は徐々に増えてきていますが、皆さん変わらない元気さは感じます。加齢と共に健康診断の結果を重視して、生活スタイルを少しずつ変えていく必要はあると感じています。

設備面では、経年劣化による細々した修繕が必要な個所は出てきています。必要に応じて対応していけることを望んでいます。

年度毎に、ホームの課題としていますが、利用者の加齢による健康面、精神面などを重視し、利用者の変化を見逃すことなく、支援を進めていかなければならないと考えております。

いまじん担当

【ほくと】

利用者の日々の生活に変化はなく大きな怪我や病気になることもなく 2025 年度を終えることができました。

設備面では給湯器が故障して湯が沸かなくなり、他のホームなどへお風呂を借りに行くこともありましたが利用者の皆さん、不穩になることもパニックになることもなく落ち着いて行動されていて、とても助かりました。

ほくと担当

【しらかば】

5 月に、賑やかだった仲間が退所されたことで、どこか寂し気な表情の利用者たち。誰もいない空き部屋を覗いては、やっぱりいない・・・と。そんな生活に慣れた 1 月。新たな仲間が入りました。

初め頃は、遠巻きに様子を伺うような素振りでその彼を観察しているようでしたが、今では空気のような感覚なのでしょうか？すっかり馴染んでしまいました。

個性あふれる4名の利用者。お互いの空間を意識しながら、楽しいグループホームを満喫しているようです。

しらかば担当

【しおん】

今年度は、健康面で内科系の不調により入院され、ケアと共に理由の分からないケガやアザが出来る方、生活面においては今まで出来ていた日常の着替えの支度などが少し困難になった方がいました。

しおんでは、3 人とも週一回(2 回の人も)理学療法のリハビリを受けていて、棚の一番上に置いた紙コップ取りの背筋伸ばし、ホーム内での歩行訓練、色合わせなどの認知機能訓練を楽しく会話しながらの時間を過ごしています。

生活の中で、しばらくお休みの人がいると、部屋を指差して「いなーい」と心配する場面や、朝食時にみんな席に着くまで気にして見ている人がいて長年の仲間意識かなと思います。

設備面では、大雨の日にリビングの天井から雨漏りがあり、何度か場所の特定をして屋根の修理をしていただきました。

しおん担当

【ひまわり】

新しいスタッフにも早く慣れて癒癒を起こすこともなく、成長した1年に感じます。

体調不良で長期お休みの方が見えて寂しいですが、その分 4 月から金曜日もお泊まりしてくれる仲間が増えてニコニコが絶えないひまわりホームです。

出来るようになったことをみんなで喜んで笑顔の絶えない1年にしたいです。

ひまわり担当

【なでしこ】

この一年を振り返れば、風邪で高熱を出される方もなく平穩に過ごせたと思います。

最近では、それぞれの利用者に身体の変化が見受けられるようになってきました。女性特有の症状など、様々な理由ですが、それぞれの方の変化に合わせて柔軟に対応をしていきます。

今まで同様に、第二のお家として利用者に楽しく過ごしていただけるよう務めて参ります。

なでしこ担当

(2)体制

体制		期初（2025/4）		期末（2026/3）	
		人員	常勤換算後人数	人員	常勤換算後人数
管理者	常勤	1	0.5	1	0.5
サービス管理責任者	常勤	2	1.5	1	1
従事者	常勤	2	15.7	2	15.2
	非常勤	41		35	

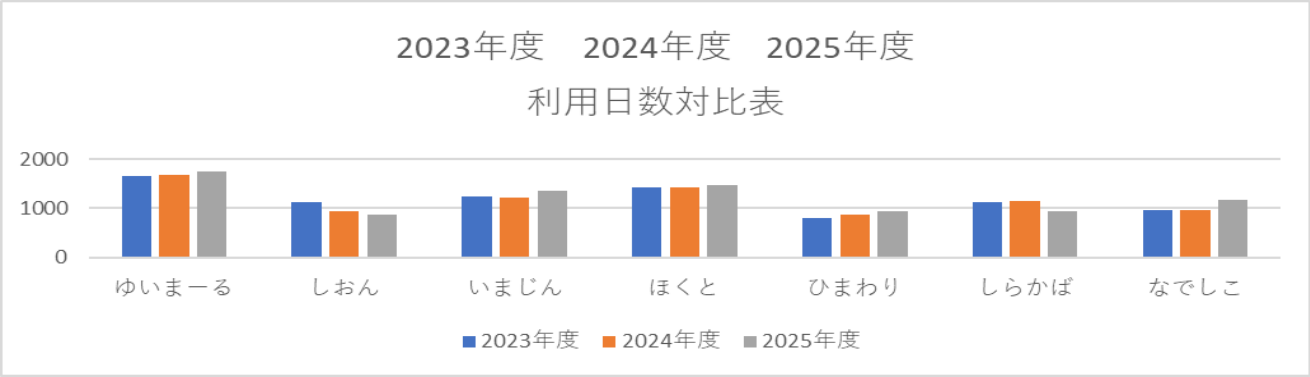
利用日数と利用率

★2025年度 第1けやきホーム ホーム別開催日数

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用日数計
2025年4月	145	78	108	130	95	104	100	760
2025年5月	147	75	104	127	92	82	100	727
2025年6月	149	72	105	124	92	75	100	717
2025年7月	152	78	109	130	100	78	104	751
2025年8月	140	66	94	108	84	66	86	644
2025年9月	147	75	121	125	73	75	100	716
2025年10月	146	73	134	131	74	76	106	740
2025年11月	141	69	121	115	64	64	92	666
2025年12月	146	71	121	120	68	72	96	694
2026年1月	145	66	116	115	65	75	89	671
2026年2月	135	67	116	115	65	87	92	677
2026年3月	153	74	128	125	72	96	97	745
合計	1746	864	1377	1465	944	950	1162	8508

★開催日数 過去3年との比較

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用日数計
2023年度	1669	1117	1242	1433	809	1126	956	8352
2024年度	1682	947	1224	1438	861	1140	970	8262
2025年度	1746	864	1377	1465	944	950	1162	8508



★2025年度区分表

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用者数計
区分3	0	0	1					1
区分4	0	0	1	1	1	1		4
区分5	3	0	2	1	1		2	9
区分6	2	3	1	3	2	3	2	16
合計	5	3	5	5	4	4	4	30

※2026年3月時点。2025年5月にしらかばの利用者が1人退所。

2025年9月にいまじんへ1人入居、2026年1月にしらかばへ1人入居されましたので、現在利用者の人数は30人です。

★2025年度の利用率

	開催日数	利用日数	利用率（％）
区分3（1名）	234	173	73.9
区分4（4名）	966	958	99.2
区分5（9名）	2,976	2,747	92.3
区分6（16名）	4,951	4,630	93.5
30名	9,127	8,508	95.0

(3)ヒヤリハット、事故報告まとめ

2025年度ヒヤリハット・事故報告一覧

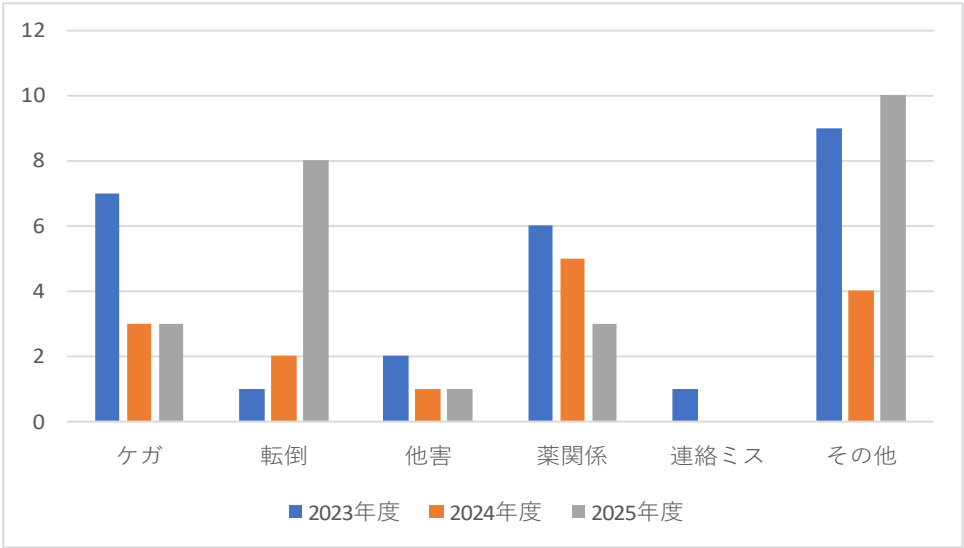
※「事」事故報告 「ヒ」ヒヤリハット

No		発生日	ホーム名	状況	内容	要因	対策
1	事	4月17日	ゆいまーる	他害	利用者が自宅へ電話を掛けたいと希望するが、掛けずにやり過ごそうとしてしまい、受話器の取り扱いになってしまった。受話器が奪えなかった為、支援者を蹴ってしまい、支援者が負傷してしまった。	本人が「なぜ電話させてくれないのか」に納得できず、無理にでも言うことを聞かせたくて暴力で訴えてしまった。	自宅への電話については、十分に本人と相談した上で、時間や頻度にも配慮しながら対応し、無理強いしない。
2	ヒ	4月28日	しらかば	転倒	土曜の朝の親御さんのお迎え時、車両へ乗り込まれる前に、敷地内に設置してあるフェンスに本人がもたれかかり、フェンスが外れ、転倒してしまった。	過去にフェンスが外れたことがあり、完全に修復されておらず、もたれて負荷がかかったことで、再度外れてしまった。	しっかり修繕を行い、本来のフェンス機能を回復させておく。
3	事	5月28日	ほくと	物損	支援者の対応が納得できず、気持ちを落ち着かせるためのガラス割りが表出した。	利用者からは支援者が怒っているようにみえ、納得できなかった為。	会話でのコミュニケーションをしっかりと取り、本人に分かりやすく伝える。
4	ヒ	6月14日	ゆいまーる	薬関係	本人が週末持って帰る用のお薬をセットするが、誤って当日朝の分を入れてしまった。朝食後の服薬時に気づき、再セットした。	薬ケースが新調され、曜日を見間違えてしまった。	カレンダーやお薬ケースをよく確認しながら準備を行う。
5	ヒ	6月18日	しらかば	戸締り	利用者がホーム内の鍵付き倉庫の鍵を開けようと試みていたため、声掛けしてやめてもらった。	倉庫の中のモノに興味があり、入りたかった。	ダイヤル式のナンバーキーの為、すぐに合わせられるような状態は避ける。
6	ヒ	6月18日	ゆいまーる	怪我防止	朝食準備中に利用者がキッチンに入ってきて、フライパンから落ちたものを拾おうとして、コンロへ近づく。コンロを使用中だった為、声掛けしやめてもらった。	「片付けたい」という気持ちが強いと、衝動的に手が出てしまう方の為、危険から離れてもらった。	調理中等キッチン使用中は少し離れていてもらうよう声掛けを今後も行っていく。
7	事	6月25日	ほくと	物損	利用者が不穏な状況になり、キッチンカウンターに置いてあった茶碗を床に投げ、割ってしまった。	利用者との会話中に来客があったため、会話を中途半端に切り上げてその場を離れた為、利用者が気分を害したと思われる。	利用者との会話をきっちりと完了させてから、次の行動に移るようにする。
8	ヒ	7月7日	しおん	危険回避	リビングで過ごしている際、黒い虫が飛び、天井へ着地。遠目で何の虫か確認できず、捕獲もできなかった。しばらくして姿が見えなくなり、搜索するが発見できず。翌朝に再搜索するが、死骸等も確認できなかった。	元々中にいたか、途中玄関や窓から侵入したか不明。	中には刺すなど危険な虫もいる為、常備している殺虫剤の確認を行っておく。また、虫が確認できている以上、放置しない。
9	ヒ	7月8日	しおん	危険回避	利用者朝食中、頭の周りを虫が飛び、留まる。よく見ると蜂だった為、即座に捕獲し外へ出す。利用者の身体を確認し、刺された箇所はなかった。	前日確認していた虫が蜂だったと思われる。いつ入ったかは不明だが、発見時に処理できていれば、今回のヒヤリは防げた。	窓やドアは開けたままに極力しない。外干しの洗濯物は虫など付いていないか確認しながらとりこむ。虫を確認したら、放置しない。
10	ヒ	7月29日	なでしこ	薬関係	朝食後の服薬介助を行うため、お薬セットを出すが、常用薬5種の内1種がないことに気づき、ストックから準備し、服薬してもらった。	お薬セットの際のヒューマンエラー	セットされているお薬でも、実際に服薬する際に再度チェックしながら服用いただく。

No		発生日	ホーム名	状況	内容	要因	対策
11	事	8月2日	しおん	転倒	利用者が食卓で朝食を摂った後、そのまま食卓の椅子に座ってTVを観ていた。洗濯の為、支援者が離れ戻ってくると、椅子から滑るような形で床にしりもちをつく。	椅子から立ち上がろうとした際にふらついてしまったと思われる。介助できる距離にいなかった。	常に横に居続けることは物理的に難しいが、食卓の椅子からリビングソファに移動してからTVを視聴してもらうなど、リスクを低減できるよう、事前対応を行っておく。
12	ヒ	8月5日	しおん	転倒	お迎えを待つため、玄関外にて過ごしていたが、気付くと利用者が段差に足をかけていて、すぐに支えに向かうが、立てはいられず、後方にゆっくり座り込む形となった。	本人はまだ中で待っていたかったかもしれない、自ら戻ろうとしたかもしれない。利用者から意識を逸らしてしまった。	周りの環境、本人の状況には常に気を付け、見ておく。
13	事	9月17日	ゆいまーる	対応忘れ	当日歯科通院の為、「朝食を摂らない」と申し送りがあったが、忘れていて、食べてしまった。	当該スタッフの認識と確認が不足していた。	なぜ朝食を摂らない様にしているか、再度確認、認識し、当日の予定をカレンダーでしっかり確認した上で支援に臨む。
14	ヒ	9月22日	しおん	転倒	自室で立ったままTVを観ていたが、そのまま朝食準備をスタッフが行っていた。ドスンと音がし確認しに行くと、床に敷いてある布団に座っていた。	座っていた場所から、すぐ近くのベッドの淵に座ろうとして、手前に座ってしまったかと思われる。	始めは座って観えても、立ち上がるかもしれないと推測し、適度に様子を伺うようにする。
15	ヒ	9月25日	なでしこ	戸締り不足	夕方に世話人出勤すると、お風呂の窓が開いており、朝戸締り時の閉め忘れをみつけた。	退勤時の確認不足。	施錠、消灯は退勤時にグルッと再確認を行う。
16	ヒ	10月6日	ゆいまーる	転倒防止	入浴介助中に利用者が浴槽をまたぐ際、支援員が介助をおこなうが、後方に転倒しそうになったため、世話人が一緒に支え、転倒を防いだ。	利用者のペースでなく、支援者のペースで動いてもらおうとしたため、バランスを上手にとれなかった。	本人のペース、やる気ありきで支援に取り組むようにする。
17	事	10月16日	ほくと	物損	リビングにて各々が過ごす中、おもむろにトイレへ向かい、「割る時用」のガラスを割られる。理由を伺ったところ、スタッフに怒られた。とのことだが、怒った場面はなく、理由付けしたものと思われる。	前日の夜に、他の利用者がにぎやかな場面があり、本人「うるさい」と話すことがあった。「注意してほしかった」が転じて「怒ってくれなかった」→「怒られた」となっている可能性有。	本人へ突発的にするのではなく、まずは会話で伝えてもらうようコミュニケーションを促す。どうしても割りたい時は、怪我無いように注意しながら、「割る用ガラス」でスッキリする。
18	事	10月20日	ゆいまーる	転倒	利用者とトイレへ向かう為、立ち上がりの介助を行うが、支援者が足を滑らせ、重なり合うように転倒してしまった。	支援者が片足はカーペットの上、もう片方をフローリングの上と不安定な状態で介助を行ってしまった。	介助に入る前に、環境・状況を整えてから望むこと
19	事	10月23日	ゆいまーる	怪我	帰宅された利用者に入浴を薦めるが拒否があり、本人の居室で話し合う。拒否が強くなっていき盛り上がりてしまい手が出てしまい、支援者が避け切れず、目の周りに引っ掻き傷ができてしまった。	帰宅直後の切り替わりの時間帯ということもあり、拒否が強く出ているなか、一旦仕切り直さずに継続してお話したため、本人も落としどころが無くなってしまった。	なんでも言うことを聞いてくれる人とならないよう、線は引きつつも、本人が受容しやすい話し方やタイミングなどを見極め、スキルアップをはかる。
20	事	11月6日	ひまわり	異食	自室で過ごす本人の様子を見に行ったところ、たばこの吸い殻をティッシュに包んだもので遊んでいるのをみつける。回収しようとするが、口に含んでしまう。吐き出してもらったが、口に入れた量が不明な為、受診する。	たばこの吸い殻を持ち込む可能性がある中、持ち物チェックが無く、ホーム内に持ち込めてしまった。	帰宅時にポケットの中、荷物の中などのチェックをスタッフと共に行い、持ち込まない、持ち込ませないを徹底する。

No		発生日	ホーム名	状況	内容	要因	対策
21	事	12月10日	しらかば	転倒	入浴介助時、利用者が湯船に足を入れたタイミングで足を突っ張ってしまい、支援者の手が滑って離れてしまい、本人パランスがとれず、転倒してしまった。	支援者が介助時にビニール手袋を着用しており、滑りやすい状況であった。その状況でとっさに支えようとしたため、滑ってしまった。	身体介護の際には、「急に支える必要」が発生することは予想できる。そのため、介助の為に準備(手袋の有無、バスマシューズ、自身の態勢)を十分に行っておく。
22	事	12月15日	なでしこ	怪我	利用者の爪にクレヨンが入り込んでおり、洗ってもとれなかった。爪も伸びてきていたので、爪切りを行ったが、利用者が動いてしまい、誤って指を切ってしまった。	爪切りを嫌がっている状態で、きれいにしあげたいと、無理強いしてしまった為、動き、ケガに繋がってしまった。	糖尿病予備軍ということもあり、爪の手入れは、生活介護看護師または親御さんへ依頼することとする。
23	事	12月23日	しらかば	車両物損	利用者帰宅時、送迎車の乗降を介助。助手席から降りてもらう為、車両のドアを全開にした所、ホーム外壁に取り付けてある照明カバーに扉が接触してしまった。	車両と建物との距離が十分ではなかったが、ぶつからないだろうと思い、特に確認せずに扉を開いてしまった。また、接触したことをその場では気付かず、事後報告となってしまった。	介助前に環境の確認をしっかり行い、安全に支援提供できる状態を整えてから、支援に望むように徹底する。
24	ヒ	12月23日	ほくと	誤薬疑惑	本人帰宅後、日課にしている荷物整理を行っていたところ、普段は本人が服用することのない薬の包みを発見。本人に確認すると「自分が飲んだ」と主張。真偽不明。健康観察を行い、異常はみられず。	元々収集癖があり、外出中のどこかで拾ってきた可能性が高い。声掛けだけではやめられないことが予想できる。	日常的に片付け、整理整頓を行いつつ、薬関係は拾わないよう声掛けを継続していき、早期発見に繋げていく。
25	ヒ	1月9日	ほくと	衝動行動	利用者が「なんで怒る？」とスタッフに対しこたわる。実際には怒られていないが、本人が望む回答を得られなかった為、近くにあったコップを投げ、割ってしまった。	他にも納得できていない「会話」があったようで、ストレスが溜まったままとなっていたと予想できる。	怒りのバロメーターには注視しておき、納得できていないとこが無いかははかる。また「割る」となった際には、所定の場所で行えるように声掛けを行っていく。
26	事	2月14日	ゆいまーる	薬関係	支援者が週末帰省時用の準備をおこなっているが、忘れてしまい、持たせずに送り出してしまった。	週末の過ごし方の確認不足で、準備すること自体が抜けてしまった。	利用者の週末の過ごし方、スケジュールをしっかり把握・確認して、送り出す。
27	事	3月3日	しおん	転倒	送迎車への移動介助中、悪天候ということもあり、傘を差しながら誘導。乗車時に利用者へ手すりを持つように誘導した後、傘をたたもうと一旦手を離すが、手すりをしっかり持てておらず、利用者が転倒してしまった。	手すりを掴んだ「だろう」で、確認があまくなった。複数スタッフがいたが、1人で介助して、利用者から手を離す状況になってしまった。	傘をさしての介助ではあるが、ホームスタッフ、送迎スタッフと複数いるため、声掛けしながら協力し合い、利用者を支える手を離さないでいい状況を作る。

	ケガ	転倒	他害	薬関係	連絡ミス	その他	計
2023年度	7	1	2	6	1	9	26
2024年度	3	2	1	5	0	4	15
2025年度	3	8	1	3	0	10	25



※その他…(例)薬・怪我等に含められないもの

(4) 会議、研修一覧

2025年度 各会議一覧
ホーム担当者会議/世話人会議

日時	時間	会議名	内容	参加者
4月11日	13:15～15:15	ホーム担当者会議	全体会議の要約/担当者変更/ワオトークについて/喫煙場所について	サビ管・各担当者
5月30日	13:15～14:45	ホーム担当者会議	各ホーム外回りの掃除について/業務にかかる時間/虐待防止研修周知/カマ周知	サビ管・各担当者
6月13日	13:15～14:45	ホーム担当者会議	フォーカスについて/ヒヤリハットについて/業務内容アンケート実施/消防立入検査おしらせ	サビ管・各担当者
7月11日	13:30～15:00	ホーム担当者会議	SNS用写真について/熱中症対策について/ヒヤリハット/7/23開催状況確認	サビ管・各担当者
8月	13:30～15:00	ホーム担当者会議	中止	サビ管・各担当者
9月26日	13:30～14:45	ホーム担当者会議	発注関係について/防災・避難訓練/リーダーとして/事業所名の表記	サビ管・各担当者
10月10日	13:30～14:45	ホーム担当者会議	担当者としての困りごと/全体会議周知	サビ管・各担当者
11月14日	13:15～14:45	ホーム担当者会議	指針/PCデータの取り扱い/事務連絡/朝食について/連絡ノート・情報共有について	サビ管・各担当者
12月12日	13:15～14:45	ホーム担当者会議	連絡ノートについて/業務日報について	サビ管・各担当者
1月16日	13:15～14:45	ホーム担当者会議	ホームの出入りについて/備品の取り扱い/利用者の爪切り/新入居者について	サビ管・各担当者
2月21日	13:30～15:00	ホーム担当者会議	新担当者/担当者業務について/緊急連絡の確認/利用者支援と家事	サビ管・各担当者
3月27日	14:00～15:30	ホーム担当者会議	洗濯等家事について/お米の発注について/お薬の依頼・受取/支援計画シート	サビ管・各担当者

ホーム全体会議

日時	時間	会議名	内容	参加者
4月17日	13:15～15:00	ホーム全体会議	担当者変更について/全体会議の復習/ワオトークの使い方/喫煙場所について	ホーム全スタッフ
10月16日	13:30～14:45	ホーム全体会議	連絡事項伝達/伝言ゲーム/個別支援計画・日報について	ホーム全スタッフ

各ホーム会議

日時	時間	会議名	内容	参加者
4月10日	10:00～11:00	ひまわり会議	連絡事項/ワオトークについて/帰宅時支援加算について/洗濯について	サビ管理・ひまわりスタッフ
5月23日	13:30～14:30	ひまわり会議	業務連絡/スタッフ間の関係について	サビ管理・ひまわりスタッフ
6月2日	10:30～12:00	ゆいまーる会議	スタッフの近況報告/W.Kさん支援について	サビ管・ゆいまーるスタッフ
6月17日	10:30～11:30	ほくと会議	就業時間について/支援での困りごと	サビ管・ほくとスタッフ
7月4日	13:30～14:30	いまじん会議	新入居者受け入れについて	サビ管・いまじんスタッフ
7月8日	14:00～15:00	しらかば会議	新規利用者募集について	管理室・課長・サビ管・しらかば担当者
7月9日	13:30～14:30	なでしこ会議	ワオトークでの情報共有について/業務内容確認	サビ管・なでしこスタッフ
7月16日	10:30～11:30	しらかば会議	新規利用者受け入れへの流れ	サビ管・しらかばスタッフ
11月11日	14:00～15:00	ひまわり会議	事故報告(タバコ誤飲の疑い)/今後の対応	サビ管理・ひまわりスタッフ
11月19日	13:00～14:00	ゆいまーる会議	H.Uさんの入浴状況/今後の入浴方法	サビ管・ゆいまーるスタッフ
12月2日	14:30～15:15	ひまわり会議	担当変更・及び2025年12月からの体制について	サビ管理・ひまわりスタッフ

研修

日時	研修	内容	参加者
8月	虐待防止 身体拘束適正化	・虐待防止について ・身体拘束適正化について	全スタッフ
10月	BCP (感染・災害)	・感染予防について ・災害対応について	全スタッフ
12月	救命救急講習	AEDの使い方や緊急時の対応について	泊まりスタッフ
10月・3月	避難訓練	各ホームで実施(火災又は地震を想定)	全ホーム

地域連携推進会議

日時		内容	参加者
10月29日	会議	・委員紹介・地域連携推進会議について・けやき福祉会グループホームの概要・R6年度のヒヤリハット、事故、ニコリホットについて・事前質問の回答	地域の方3名 福祉関係者1名 利用者家族1名 ホームスタッフ(管理者、サビ管、事務)
11月11日	見学会	なでしこ・ほくと見学会開催 施設設備紹介、生活のリズム説明、質疑応答	なでしこ 地域の方4名、サビ管 ほくと 地域の方2名、担当者1名
1月16日	見学会	いまじん・ゆいまーる・しらかば見学会開催 施設設備紹介、生活のリズム説明、質疑応答	地域の方1名、サビ管
1月20日	見学会	ひまわり・しおん見学会開催 施設設備紹介、生活のリズム説明、質疑応答	地域の方1名、サビ管

(5)その他(ニッコリホット)

ホーム 2025年度 ニっこりホットまとめ		
2025年4月1日		お誕生日会
ひまわり		磯野さんの47回目のお誕生日 新しいメンバーも増えて、賑やかなお誕生日会になりました。お腹がいっぱいのようで、珍しくケーキを残した佳美さん！食べ終わったら、満足そうに自分の部屋に歩いて行きました。
2025年4月1日		はいポーズ
ひまわり		奈菜美さん、 楽しいといいながら、表札書いてました 写真撮ろうか～ はい！ポーズ
2025年4月10日		奈菜美さん作品集
ひまわり	 	支援員が「折り紙しますか？」と広告を渡すと、やる気になった奈菜美さん正方形に形を整えては作品をつくりあげていきます。完成した作品は自室の棚へ、作品の置き場所も自分で考えておりました
2025年5月26日		準備万全、まだかなあ
しらかば		小倉さんと井村さん、送迎待ちのお二人、仲良くソファで待ちます。 ちょっと眠くなってきた、なんて会話をしているのでしょうか？待ちきれない様子のお二人です。
2025年5月26日		お誕生ケーキ
しらかば		小倉さん、イチゴのショートケーキを口いっぱい頬張り、仲間と一緒に自分の誕生日を祝っています。
2026年3月26日		いつものお手伝い
ゆいまーる		金崎さんは、いつものお手伝い。 ご飯つぎは自分の仕事、といった感じでやってくれる。
2026年3月26日		オリジナル写真立て
いまじん		青山さん、日曜日のれすば外出でモザイクミュージアムで作った写真たてを見せてくれました、 なぜか時刻表が入れてありました
2025年4月		楽しい誕生日
しおん	 	我慢できない～と手が伸びる綾子さん、楽しい誕生日になりました
		ポーズ
しらかば		小倉さん、破れたソファをテープで補修中、少し千切って彼にくっつけてあげました。 それを自ら口に貼ってポーズ…笑

2025年4月		お誕生日会
なでしこ	 	田中里枝さんの誕生会をしました、Happy birthday を歌ってお祝いしました くまさんケーキ、「おいしい」っ食べました
2026年3月30日		ニッコニコ～
ゆいまーる	 	日下部さん、僕は今日もニッコニコ～
2026年3月12日		それぞれの過ごし方
ほくと		それぞれが好き好きに、自分の時間を過ごしています
2026年1月29日		ケーキおいしい
しおん	 	江口さん ハッピーバースデー ケーキ おいし～～～
2026年1月15日		みんなで談笑中
ゆいまーる		ワイワイ、ガヤガヤ どんなお話してるんだろ～
2025年11月20日		ケーキに夢中
いまじん	 	浜田さんのお誕生日～ ケーキに夢中で、みんなカメラ目に入らず
2025年7月24日		遊びの天才
しおん		田中亜希子さんは、遊びの天才です この頃のブームは、紙コップ積みにハマってます
2025年5月1日		楽しく嬉しく
ほくと	 	切り替えは苦手な中谷さん でも楽しく嬉しく、 上手に切り替わる日だってあるよ あ！今日はおやつがある

2025年9月5日		みんなのお誕生日	
複数ホーム		各ホームでのお誕生日会から… みんなお誕生日おめでと～～ やっぱりケーキは嬉しいよね	
2025年8月7日		みんなのお誕生日	
複数ホーム		各ホームでのお誕生日会から… みんなお誕生日おめでと～～ 誕生日はやっぱりケーキだよ	
2025年11月27日		歩いて健康	
ほくと		歩いて健康 毎日の習慣となっています	
2025年7月31日		歯磨き中	
なでしこ		みんな真剣に歯磨き中 虫歯にならないように、しっかりね	
2026年3月6日		リビングのお掃除	
ほくと		鼻歌を歌いながら リビングの掃除をしてくれている北原さん	
		新生活スタート	
しらかば		藤原さん、新生活スタート 仲間とリビングでテレビ鑑賞中	
		楽しそう	
いまじん		送迎前のひと時、 楽しそうにじゃれあってます	

5. 「れすば」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
障害福祉サービス事業 (訪問系)	居宅介護(身体介護、家事援助、通院等介助、乗降介助) 重度訪問介護、行動援護、
地域生活支援事業 (春日井市補助事業)	移動支援
共生型サービス事業 (介護保険)	訪問介護
多胎児育児支援事業 (春日井市)	多胎児

(1) 総括

4月でサービス提供責任者が新しく変わりました。共通する利用者の方は何人もいるものの、支援の内容が違えばスタッフに見せる表情も違うことに気づき、自らの経験を活かした支援をすることでスタートしました。利用者の希望するところへ行く、食べたいものを食べる、やりたいことができる。これが「れすば」での強みです。できるだけ利用者の希望に寄り添い支援ができるように対応しました。また、秋には管理者も変更になり、れすばでの経験値の高いスタッフが配置されたことで、更に利用者に寄り添い、ヘルパーとの支援の会話も楽しめる環境が増えました。

管理者

「居宅介護」について

身体介護・家事援助については、1名(介護保険併用)の利用者との契約になっており、利用者が入院を2回したことにより、0回の月も出ております。再度ご自宅に戻られても、介護サービス内容に変更はなく引き続き各関係事業所とも連携をとり、在宅の支援をさせていただきたいと考えています。

通院等介助・乗降介助については、ほぼ変わらず定期通院の中で支援をさせていただいており、利用者自身も少しずつですが、病院に行き診察を受けることに慣れつつあるようでした。

行動援護については、入所された利用者もあり、去年度より月の回数が減っています。感染症も落ち着き、少しずつ時間数の見直しも必要ですが、利用者が年齢を重ねてきて体力も落ちてきている利用者もおられるので、体力面にも目を配っての支援が今後より大事になってくると感じています。

重度訪問介護について、契約利用者は1名のみです。とても繊細な方なので、どのヘルパーが行っても大丈夫とはなりません。が、数年かけて関わるヘルパーが増えてきています。

サービス提供責任者

「移動支援」について

利用者が、毎回移動支援でお出かけすることを大変楽しみにされています。年齢を重ねて、体力が落ちてきている利用者もおられますが、今の体力にあった行き先を提案させてもらい、事業所目標である「一緒に楽しみ、一緒に挑戦」を大切に支援しています。また、色々体験をしていくことで、表情が出てきたり、表現をしてくれたりするようになってきているので、今後も「安心・安全」を心掛け、楽しいお出かけ・お出かけ内容にしていきたいと思います。

サービス提供責任者

その他共通事項

①研修、技術指導会議等

技術指導会議:10回(全員対象)その他2回は法人研修と救命救急訓練に当てています。

②防災訓練、救命訓練

【防災訓練】

9月に事業所内研修として実施。地震を想定して、利用者とヘルパーで近くの公園まで、避難訓練を行い、危険個所や誘導の仕方を確認。

また、緊急時の対応と緊急連絡先の確認を行う。

【救命訓練】

12月に春日井市東消防出張所にて、救命救急講習開催。

(2)体制

2025年度		期初 2025/4		期末 2026/3	
		人員	常勤換算後人員	人員	常勤換算後人員
管理者	常勤	1	1	1	0.5
サービス提供責任者	常勤	1	1	1	1
従業者	常勤	0	0.0	1	0.5
	非常勤	9	1.7	9	1.3
上記スタッフ 資格内訳	介護福祉士	5		6	
	実務者研修修了者				
	初任者研修	6		5	
	ヘルパー2級				
	行動援護資格保有者	5		6	

※資格内訳は、資格数に応じ重複してカウントしています。

年齢構成、支援区分、障害種別

2025年度

a.年齢構成

		～18歳			19～25歳			26～30歳			31～35歳			36～40歳			41～45歳			46～50歳			51歳～			合計					
居宅介護等		0			1			1			0			2(2)			2(2)			8(4)			10(3)			24(11)					
けやき&ホーム		0			0			0			0			2(2)			1(1)			5(3)			9(3)			17(9)			4(2)		
		れすばのみ	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2(1)	0	0	1	2	1						
けやき		0	0		0	1		0	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0							
ホーム		0	0		0	1		0	1	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0								
居宅+移動支援		0			0			0			0			2			2			4			3			11					
移動支援		0			2			0			2			4(2)			3(2)			5(4)			6(3)			22(11)					
けやき&ホーム		0			0			0			0			3(2)			1			4(3)			6(3)			14(8)			6(3)		
		れすばのみ	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2(2)	0	0	1(1)	0	0	0	2	0					
けやき		0	0		0	0		0	0	0		2	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0								
ホーム		0	0		0	0		0	0	0		2	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
計		0			3			1			2			4			3			9			13			35					
れすば24		0(0)			4(3)			2(1)			3(1)			4(4)			2(2)			7(7)			14(12)			36(30)					
合計		0			4			2			4			4			3			9			15			41					

*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人
*居宅移動の（ ）内の数字は両方契約している人の数
*れすば24の（ ）内の数字は24と居宅もしくは移動を契約している人
*計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

*合計は、24を含めた実契約実数
*けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上
*「居宅介護等」＝身体、家事、通院、乗降、重訪、行動、同行）の人数

障がい支援区分

	児童			区分1			区分2			区分3			区分4			区分5			区分6			判定なし			合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
居宅介護等	0			0			0			1(1)			3(2)			4(3)			16(5)			0			24(8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
けやき&ホーム	0			0	0			0	0			1(1)	2(1)			1(1)	3(3)			0	12(5)			2	0			0	16(6)			3(1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
れすばのみ	0				0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人
*居宅移動の（ ）内の数字は両方契約している人の数
*れすば24の（ ）内の数字は24と居宅もしくは移動を契約している人
*計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

*合計は、24を含めた実契約実数
*けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上
*「居宅介護等」＝身体、家事、通院、乗降、重訪、行動、同行）の人数

障がい種類別

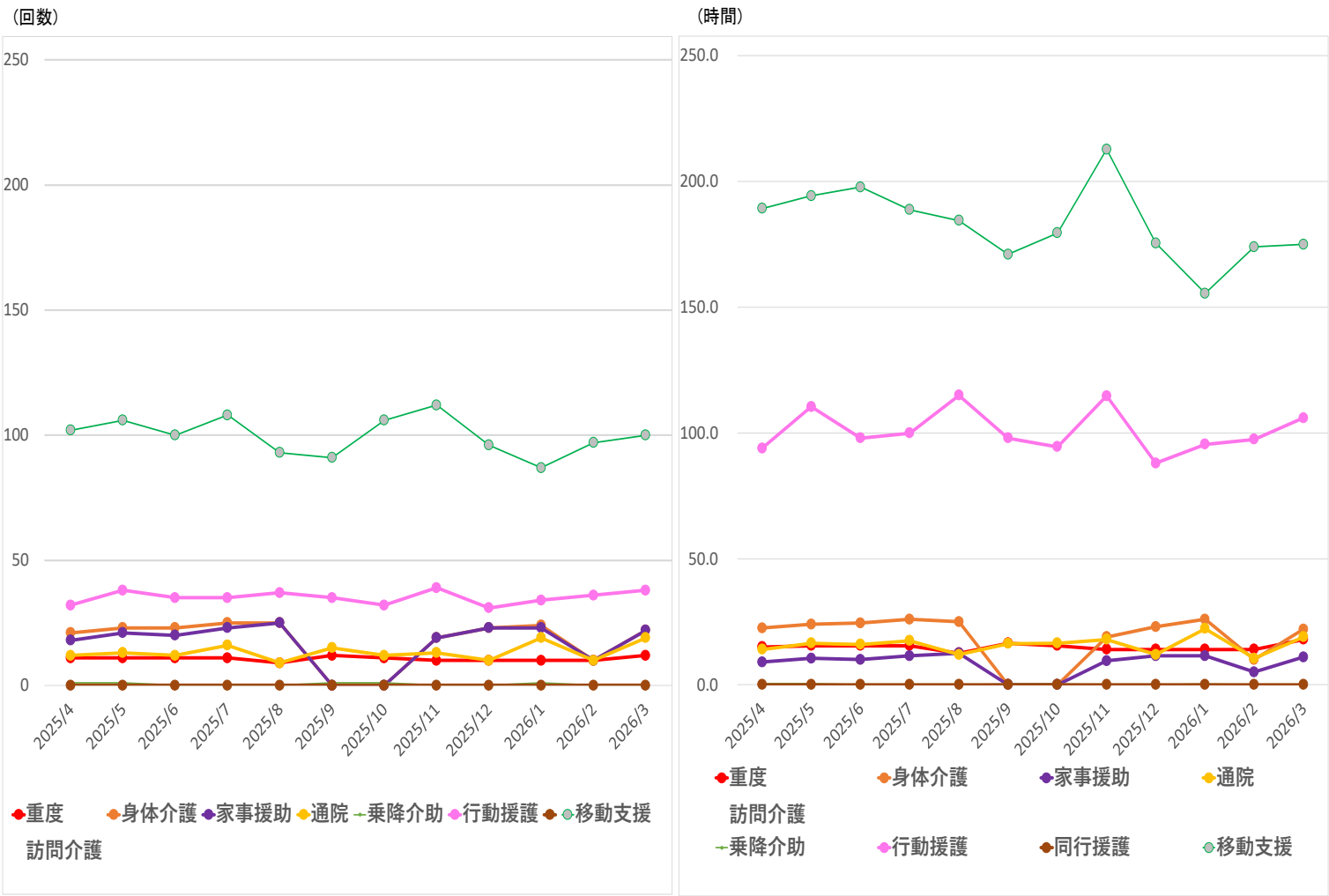
		身体			身知的			身精神			知的			知精神			精神			合計						
障がい者	居宅介護等		2			5(2)			0			16(9)			1			0			21(8)					
	けやき&ホーム	れすばのみ	0			2	5(2)			0	0			2(2)	11(7)			1	0			0	14(5)			5(3)
			0	0	0		0	0	0		2	1	0		0	0	0		2	0	0					
	居宅+移動支援		0			2			0			9			0			0			11					
	移動支援		0			2(2)			0			20(9)			0			0			22(8)					
	けやき&ホーム	れすばのみ	0			0	2(2)			0	12(7)			6(2)	0			0	14(6)			5(2)				
			0	0	0		0	0	0		2	0	0		0	0	0		0	3	0		0			
	計		2			5			0			27			1			0			35					
れすば24			0			5(5)			0			29(24)			1(1)			1			36(30)					
合計			2			5			0			32			1			1			41					
障がい児	居宅介護等		0			0			0			0			0			0			0					
	けやき&ホーム	れすばのみ	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			
			0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0						
	居宅+移動支援		0			0			0			0			0			0			0					
	移動支援		0			0			0			0			0			0			0					
	けやき&ホーム	れすばのみ	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			
			0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0					
	計		0			0			0			0			0			0			0					
れすば24			0			0			0			0			0			0			0					
合計			0			0			0			0			0			0			0					
障がい者と障がい児合計			2			5			0			32			1			1			41					

利用実績(居宅介護、移動支援)まとめ

2025年度 月別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ

	サービス利用回数										サービス時間								
	居宅支援							地域支援	合計		居宅支援							地域支援	合計
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動支援	同行支援	移動支援			重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動支援	同行支援	移動支援	
2025/4	11	21	18	12	1	32	0	102	197	2025/4	15.0	22.5	9.0	14.0	0.50	94.00	0.0	189.3	344.3
2025/5	11	23	21	13	1	38	0	106	213	2025/5	15.5	24.0	10.5	16.5	0.50	110.50	0.0	194.3	371.8
2025/6	11	23	20	12	0	35	0	100	201	2025/6	15.5	24.5	10.0	16.0	0.00	98.00	0.0	197.8	361.8
2025/7	11	25	23	16	0	35	0	108	218	2025/7	15.5	26.0	11.5	17.5	0.00	100.00	0.0	188.8	359.3
2025/8	9	25	25	9	0	37	0	93	198	2025/8	12.5	25.00	12.5	12.0	0.00	115.00	0.0	184.5	361.5
2025/9	12	0	0	15	1	35	0	91	154	2025/9	16.5	0.0	0.0	16.4	0.25	98.00	0.0	171.0	302.1
2025/10	11	0	0	12	1	32	0	106	162	2025/10	15.5	0.0	0.0	16.5	0.25	94.5	0.0	179.5	306.3
2025/11	10	19	19	13	0	39	0	112	212	2025/11	14.0	19.0	9.5	18.0	0.00	114.8	0.0	212.8	388.0
2025/12	10	23	23	10	0	31	0	96	193	2025/12	14.0	23.0	11.5	12.0	0.00	88.0	0.0	175.5	324.0
2026/1	10	24	23	19	1	34	0	87	198	2026/1	14.0	26.0	11.5	22.3	0.25	95.5	0.0	155.5	325.0
2026/2	10	10	10	10	0	36	0	97	173	2026/2	14.0	10.0	5.0	10.5	0.00	97.50	0.0	174.0	311.0
2026/3	12	22	22	19	0	38	0	100	213	2026/3	18.0	22.00	11.0	19.00	0.00	106.0	0.0	175.0	351.0
年間合計	128	215	204	160	5	422	0	1,198	2,332	年間合計	180.0	222.0	102.0	190.6	1.8	1,211.8	0.0	2,197.8	4,105.9
月平均	10.7	17.9	17.0	13.3	0.4	35.2	0.0	99.8	194.3	月平均	15.0	18.5	8.5	15.9	0.1	101.0	0.0	183.1	342.2

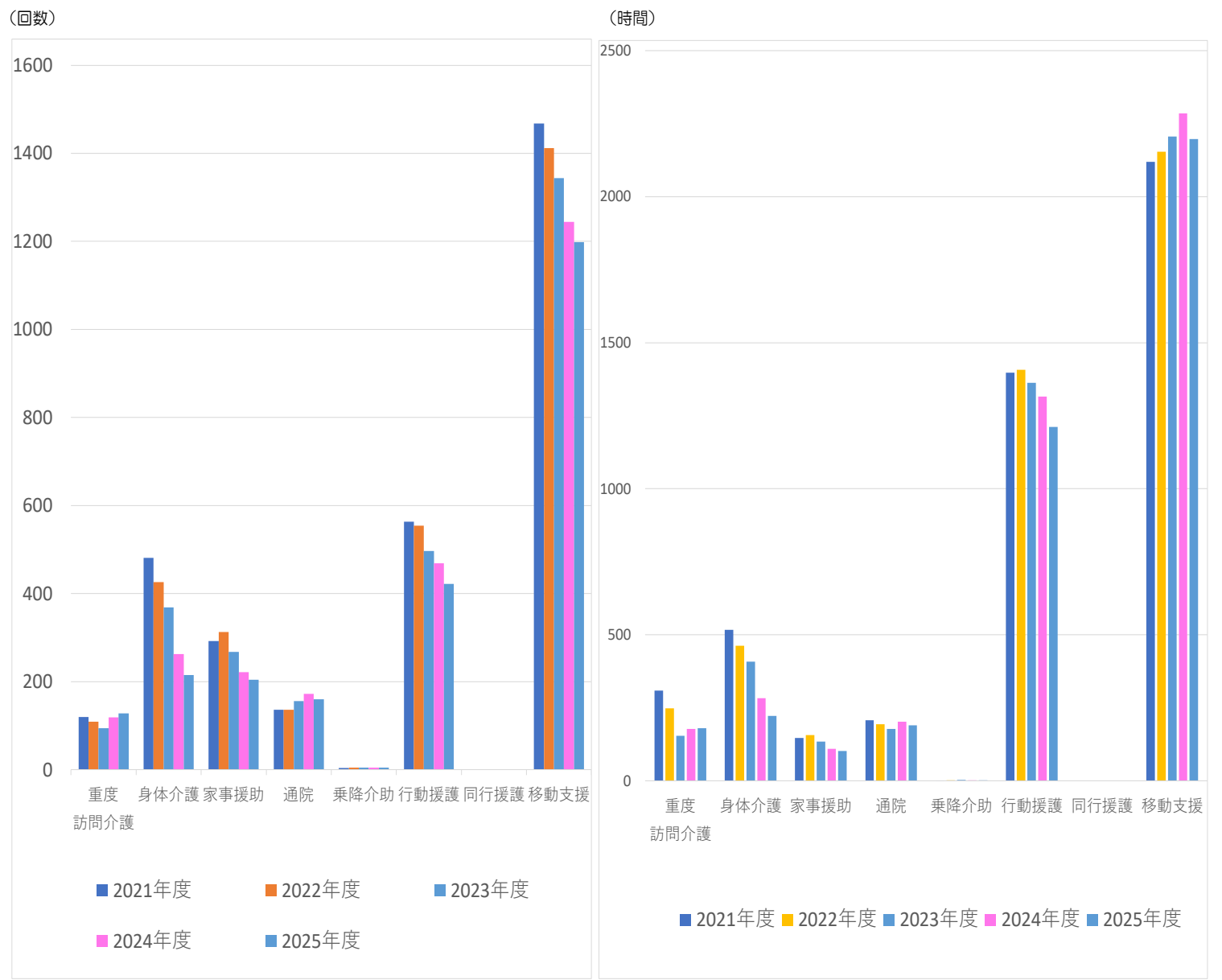
2025年度 月別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ



年度別 【居宅支援】【移動支援】実績まとめ

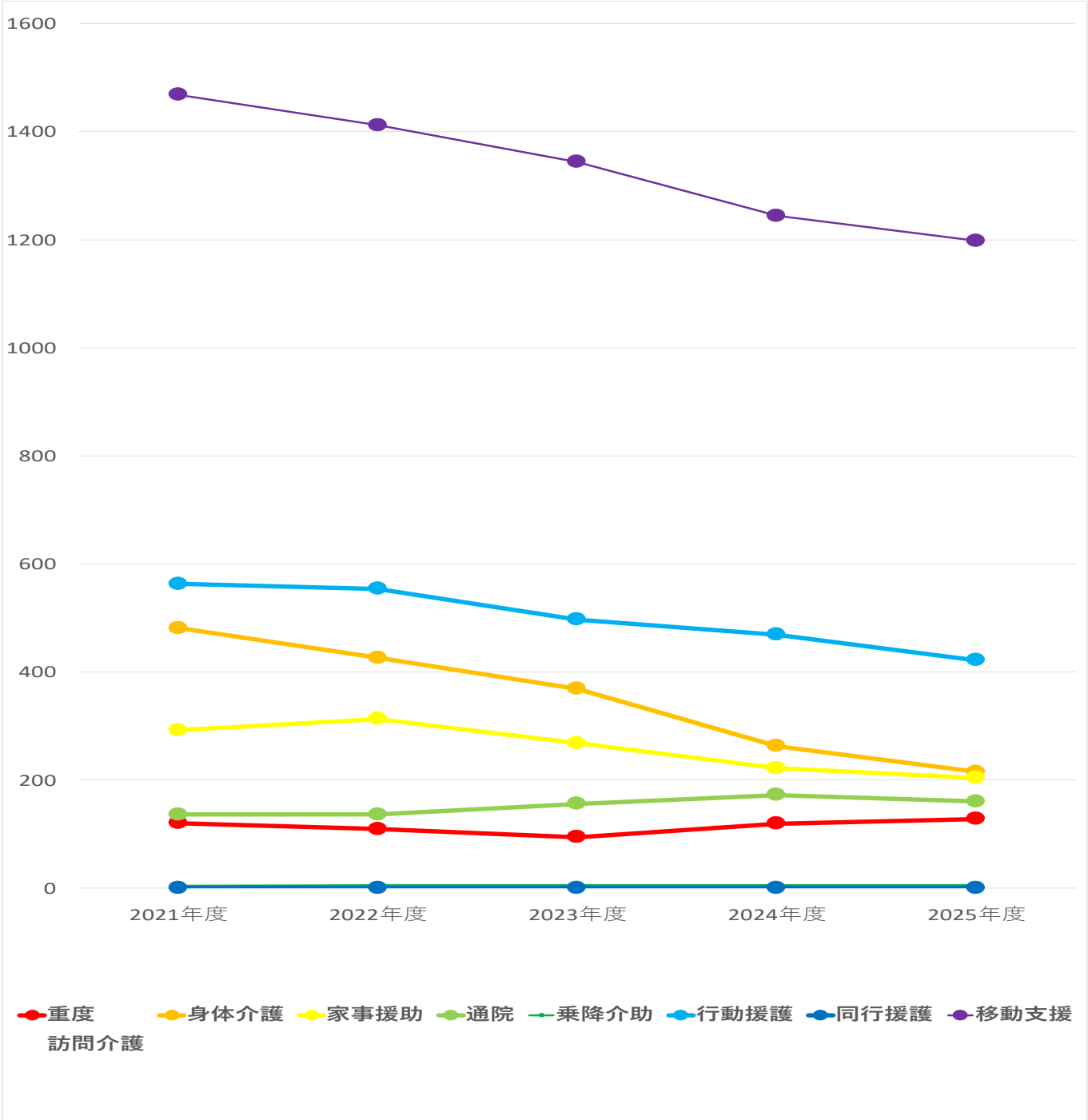
(回数)	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	合計	(時間)	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	合計
2021年度	120	481	292	136	4	563	0	1468	3064	2021年度	308.5	517	146.5	207	1	1398	0	2119	4697
2022年度	109	426	313	136	5	554	0	1412	2955	2022年度	249	463	156.5	194	2	1407	0	2153.5	4625
2023年度	94	369	268	156	5	497	0	1344	2733	2023年度	154	407.5	134	178	2.8	1362.5	0	2206.5	4445.3
2024年度	119	263	222	172	5	469	0	1,244	2,494	2024年度	177.5	283.5	110.0	202.0	2.0	1,316.0	0.0	2,285.3	4,376.3
2025年度	128	215	204	160	5	422	0	1,198	2,332	2025年度	180.0	222.0	102.0	190.6	1.8	1,211.8	0.0	2,197.8	4,105.9

年度別 【居宅支援】【移動支援】実績まとめ



サービス利用回数									
	居宅介護							地域支援	合計
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	
2021年度	120	481	292	136	4	563	0	1468	3064
2022年度	109	426	313	136	5	554	0	1412	2955
2023年度	94	369	268	156	5	497	0	1344	2733
2024年度	119	263	222	172	5	469	0	1244	2494
2025年度	128	215	204	160	5	422	0	1198	2332

(回数)

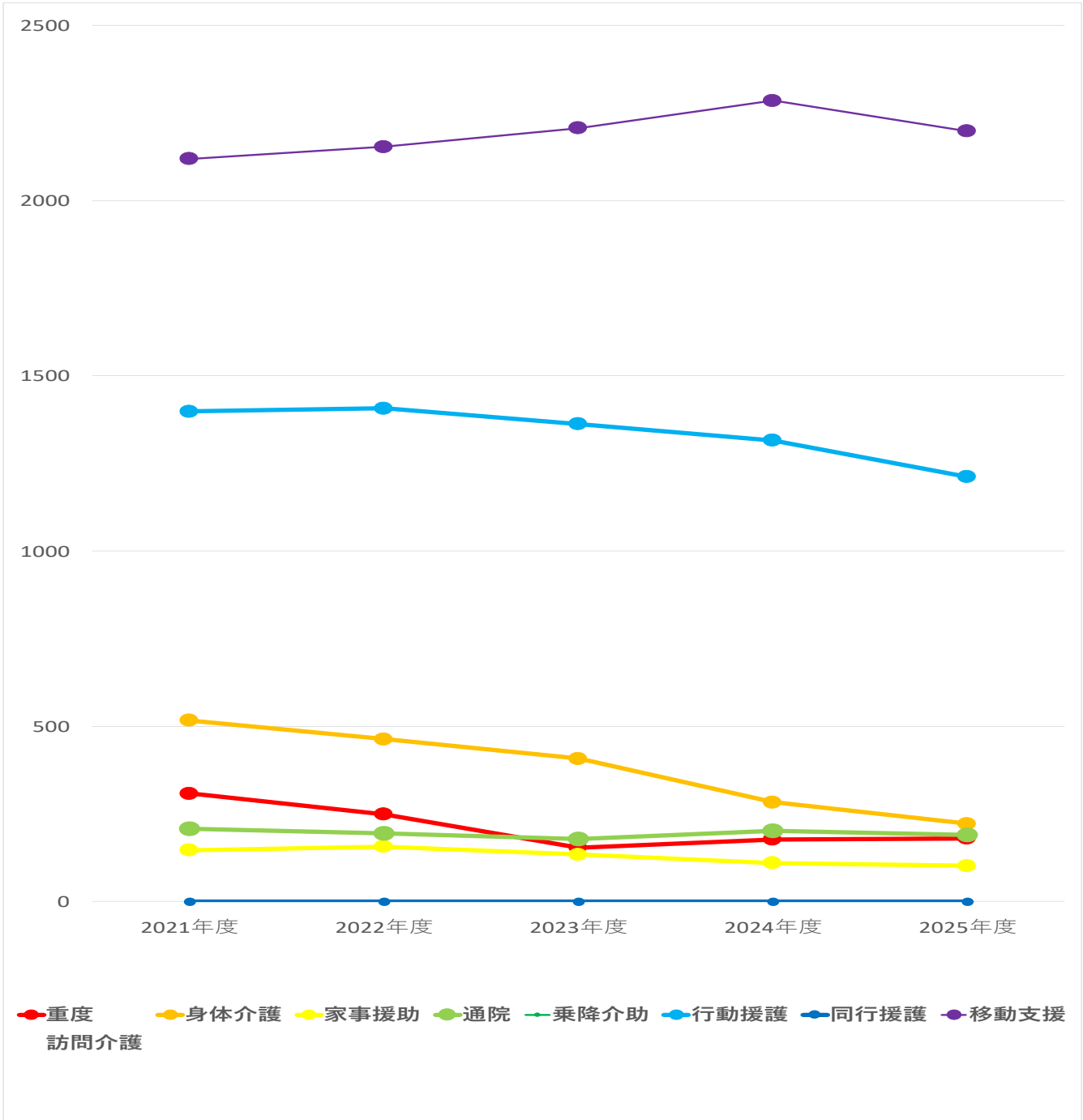


補足

- ・身体介護、家事援助は利用者の入院もあり回数が減っています。
- ・移動支援・行動援護については、キャンセル料がなくなったことで、キャンセルをされる回数が増えたことで、回数・時間数が前年度より少なくなっています。

サービス利用時間									
	居宅介護							地域支援	合計
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	
2021年度	308.5	517	146.5	207	1	1398	0	2119	4697
2022年度	249	463	156.5	194	2	1407	0	2153.5	4625
2023年度	154	407.5	134	178.9	2.8	1362.5	0	2206.5	4446.2
2024年度	177.5	283.5	110	202	2	1316	0	2285.3	4376.3
2025年度	180	222	102	190.6	1.8	1211.8	0	2197.8	4106

(時間)

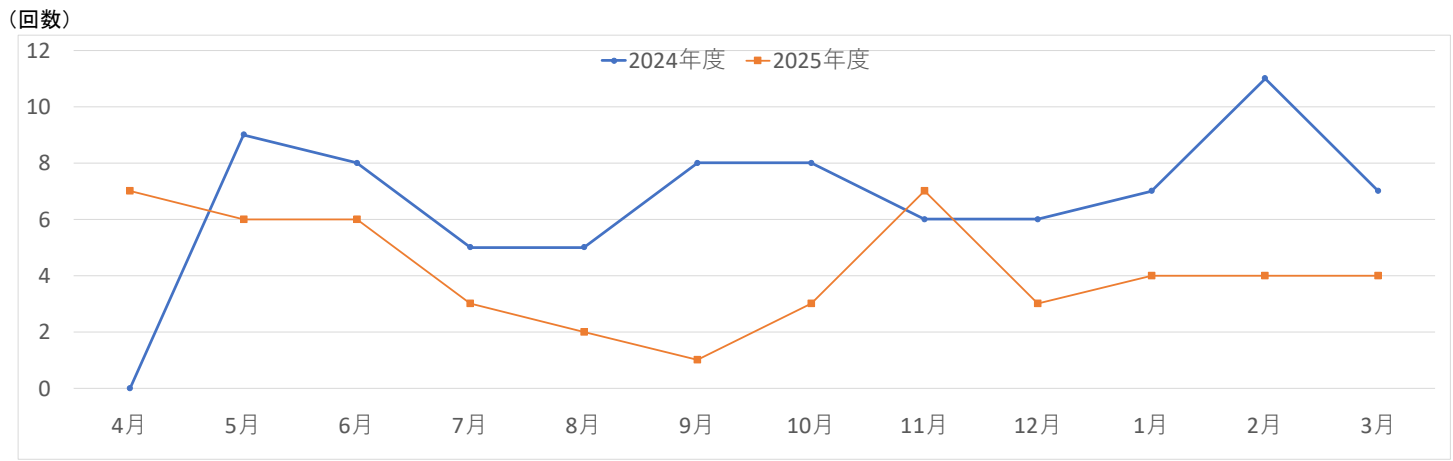


補足
・身体介護、家事援助を契約されている利用者が、入院をされた期間もあるので、時間数も減っています。
・今年度は、キャンセルが発生したり、いつもは利用している方が利用がない月や利用しない曜日もあったために、時間数が減っています。

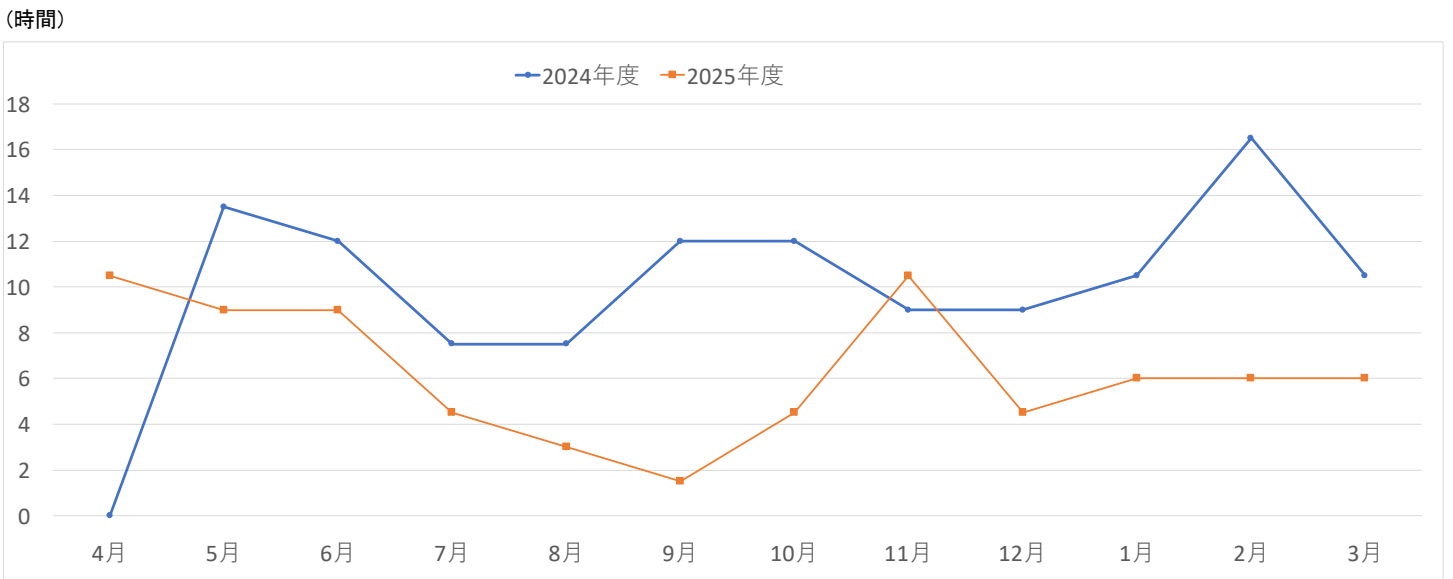
介護保険 訪問介護(れすぱ～紙ふうせん)

紙ふうせん 利用者数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2025年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

サービス利用回数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年度	0	9	8	5	5	8	8	6	6	7	11	7	80
2025年度	7	6	6	3	2	1	3	7	3	4	4	4	50



サービス利用時間													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年度	0	13.5	12	7.5	7.5	12	12	9	9	10.5	16.5	10.5	120
2025年度	10.5	9	9	4.5	3	1.5	4.5	10.5	4.5	6	6	6	75



9月と12月は利用者の入院もあったため、回数・時間が減っています。契約者数40名に対して、サービス提供責任者1名の配置にしているため、大規模な募集は控えています。また、介護の受給時間数を他事業所と分け合っているため、回数と時間数は減っています。

(3)ヒヤリハット、事故報告まとめ

2025年度ヒヤリハットまとめ

	発生日	区分	内容	要因	対策
1	6月19日	通院介助（対人）	利用者さんの通院介助が終わり、送っていったとき、利用者さんが車のトランクを開けてしまい、車の鍵をかけるタイミングが遅かった。	駐車場に入ったとき、すぐに鍵をかけなかったため。車に近づいてくる人がいないか注意を怠ったため。	駐車場侵入時は常に注意をはらう意識をもつ。
2	8月1日	行動援護（対人）	ペットボトルの蓋を噛み砕きたいと思ったのか、リュックより自分のハンドタオルを取り出し、ハンドタオルを口にあて、その時に口でハンドタオルを破いた。	グループホームに泊まった時、紙ちぎりをホームで行えず、反動で衣類を破ったりしていた。	誤って、異物を飲み込まないように注意する。
3	1月4日	行動援護（対人）	利用者さんが入ってきた電車に乗らず、体に力が入り動けず予定していた電車に乗れなかった。	リニモと愛知環状鉄道乗り換えに、並んでいる人がいて、先頭に並ぶことができず、時間がかかり、乗ろうとした電車に乗れなかった。電車が発出した事を利用者さんは見ていなかった。	時間に余裕をもって行動をする。 利用者さんの性格や特性を考慮した伝え方を考える。
4	3月12日	移動支援（対人）	散歩の帰り道にガードレールの向かい側が崖になっているところでガードレールを跨ごうとした。直ちに制止し、危険であることを伝え、要注意した。利用者さんにも「ダメです」と言い、やってはいけないことだと理解した様子です。	ガードレールの向かい側に紙屑が落ちており、それを拾おうとした。	利用者さんから離れず、何かあったらすぐに制止できる距離を保つ。繰り返すようであれば、散歩ルートを変更する。 利用者さんも安全確認がとれない時がある事を念頭に支援にあたる。

2025年度 事故報告のまとめ

	発生日	区分	内容	要因	対策
1	9/18	支援日誤り	9月18日(木)に歯科通院のため支援を計画していたが、受診すると当日に予約が入っていないと受付で判明。確認すると、歯科の予約は10月24日。実際に渡されていた予約票も同日付の記載。支援は中止し、予約日に再度支援計画とした。	シフト作成時に、支援報告・聞き取り票・予約票の3点の確認を怠っていたため、事前に気づかなかった。	シフト作成時に、支援報告・聞き取り票・予約票の3点を全て確認する。 上記に併せて、事務所内のホワイトボードへも随時記入してある次回予約日時も確認する。
2	10/5	支援日誤り	当日支援に行くと、お父様より「支援、今日じゃないぞ」とお申し出あり、お母様と本人様は床屋へ外出中であつた。お父様が持っていた利用希望表を担当ヘルパーと一緒に確認すると、当日の利用希望はない。 支援はもちろん中止とし、お母様に謝罪のご連絡をさせていただいた。	利用希望表、配置表のチェック時、いつもと異なり配置表の日時を軸にチェックをしていたため日にちがズレているところの箇所のチェックが不十分になってしまった。	利用希望表を軸にチェックを行う。 利用希望表のチェックの後、配置表を軸とした段階的なチェック方法を行う。

2025年度 苦情まとめ

本年度は苦情件数ゼロ

(4)会議、研修一覧

2025 年 度 研 修 一 覧

技術指導等会議			キャリア別研修&ケース会議	
	主な概要(共通)	内容(会議後記入)	研修・会議名	内容(会議後記入)
4月	年間計画・個人目標・虐待防止	年間計画・個人目標	年間研修計画・個人目標・報連相	活動指針伝達、連絡体制の確認
5月	危険察知トレーニング	危険察知トレーニング	危険察知トレーニング	共通の写真から危険な個所の確認
6月	アンガーマネジメント	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントについて	活用方法
7月	虐待防止について	虐待防止	虐待防止、身体拘束適正化	虐待について、身体拘束について
8月	BCP感染対策及び災害BCP	BCP感染対策及び災害BCP	BCP感染対策及び災害BCP	BCPの変更箇所について
9月	避難訓練	避難訓練	避難訓練	被災した場合の動き・避難場所までの誘導の仕方について
10月	ケース会議	ケース会議	ケース会議・連絡事項	ケース検討、諸連絡について
11月	安全運転・緊急対応	安全運転・緊急対応	安全運転・緊急対応	冬の際に運転について、緊急における対応の確認
12月	救急法	救急法	救急法	救急救命講習(普通救命講習Ⅰ)
1月	安全運転講習	ケース会議	ケース会議・連絡事項	ケース検討及び変更点の確認
2月	ケース会議	安全運転講習②・連絡事項	安全運転講習②・連絡事項	冬の時期の朝に気を付ける点
3月	年度纏め、ヒヤリハット	年間まとめ・ヒヤリハット	年間まとめ・ヒヤリハット	1年間の振り返り・ヒヤリハット提出について

6. 「れすぱ～さくら館」概要

(1) 総括

2025 年度は 9 月から、小学 2 年生の新しい利用児童の受け入れをしました。

学校に中々なじめず休みがちですが、「さくら館」は、楽しいとお母さんのお声も頂き、徐々にさくら館の利用もふえていければと思います。

3 月には約 6 年、小学生の頃から利用して頂いた利用児童が高校卒業を迎え、送り出しました。ムードメーカー的な方だったため、一抹の寂しさを感じますが、貴重な青年期の成長を見守る事が出来た事は、私達スタッフにとっても喜びでした。

年齢が上がってきて、自我が強くなり、拘りが増えてきたことで、個別対応が必要になってきている児童が増えてきているように感じます。

感覚が過敏になってきて、大きな音や声に反応する児童や触感に違和感がある子、気温や気圧の変化、学校での通常の授業でないイベントや行事の変化に対しても不穏になる子、通常級になじめず登校拒否が始まった子もいました。

学習面では、勉強が嫌で学校に遅れて行く子、宿題をやりたくないからか学校に置いてくる子、友達と遊べば宿題をやらなくていいから「さくら館」を休みたいという子もいました。

創作活動では、学年が上がってくると宿題と同じで、やらされている感があるようで、「遊びたい」「めんどくさい」などの声もあります。集中すると時間を忘れて取り組むこともあります。来所時間が遅くなってきていて集中するまでに時間がかかるようになってきているので、慌ただしい時が増えてきました。

長期休みなどの「さくら館」で弁当を食べた後、すぐに遊びたい子もいれば、ゆっくりしたい子もいるため、昼食後、1 時間ぐらい居間にあるテレビで YouTube などの動画を見るようにしました。普段、家でも見ているため、慣れているので、ほとんどの子が集中して静かに過ごさせています。

今では、テレビが天井付近にあるため、時間になると枕を用意して視聴の準備をする子も出てきました。

以前は、公園で遊びたい子が多かったように思いますが、最近は、家の中で遊びたい子も複数いる時があり、スタッフを中と外を分けて対応しています。

また、高学年の男の子の脚力に女性スタッフが追い付けなくなってきていて、走りだしてしまう子の手つなぎの徹底しながら、対策を考えていきたいと思っています。

管理者／児童発達支援管理責任者

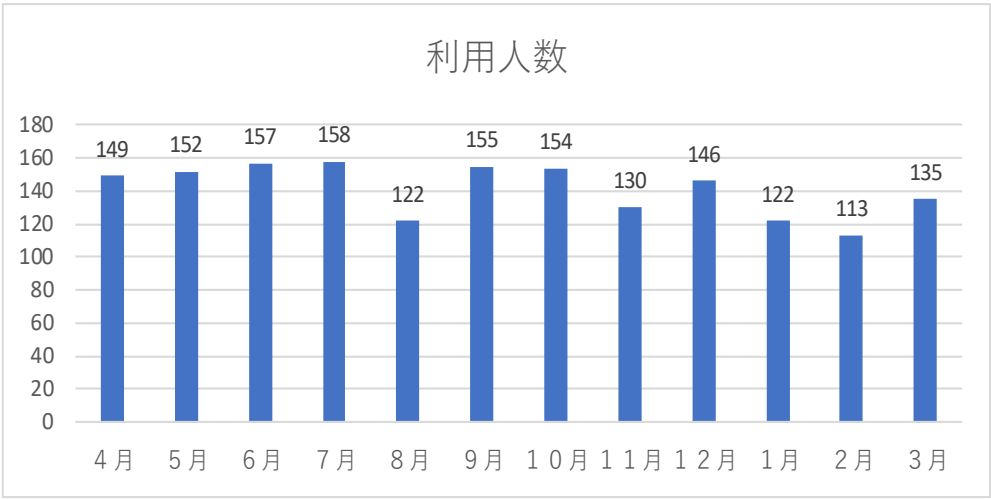
子どもから何をするのも「めんどくさい」「やればいいでしょ」という態度で勉強も創作もしていた子たちが導入の仕方、やってみれば楽しいということが若干あったようです。

スタッフも子ども達もワクワクやウキウキがいっぱいでした。

児童指導員

(2)体制

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	149	152	157	158	122	155	154	130	146	122	113	135	1693
開所日数	21	20	21	21	17	20	22	18	20	19	18	21	238
1日平均 児童数	7.1	7.6	7.4	7.5	7.1	7.7	7	7.2	7.3	6.4	6.2	6.4	7.1
キャンセル 回数	13	5	3	9	11	6	10	12	19	17	6	4	115



2026年3月時点 登録児童13人

2023年度年間利用人数・・・1718人

2024年度年間利用人数・・・1895人

2025年度年間利用人数・・・1693人

学年別児童数

	小学1年～3年	小学4年～6年	中学生	高校生	計
支援学校	0	2	3	1	6
支援級	2	5	0	0	7

		2025年4月		2026年3月	
		人員	常勤換算後人員	人員	常勤換算後人員
管理者	常勤	1	0.5	1	0.5
児童発達支援 管理責任者	常勤	1	0.5	1	0.5
児童指導員	常勤	1	2	1	1.9
	非常勤	3		2	
保育士	常勤	0	1.4	0	1.4
	非常勤	2		2	
指導員	常勤	0	0	0	0
	非常勤	0		0	

(3)ヒヤリハット、事故報告まとめ

2025年度 ヒヤリハット

発生日	経緯	原因	対策
6月30日（月）	パニックになり、走りだしたり自傷行為や物を投げつけたりする。	利用曜日ではない曜日や、連日の暑さのため、イライラしていたのではないかな。	走りだす事を想定しておく。車の中を涼しくしておき、落ち着ける環境を作っておく。
7月15日（火）	ドアを勢いよく開けて屋外コンセントを破損させてしまう。	コンセントの位置が、ドアがあたる位置にあり勢いよく開けると当たってしまう。	屋外コンセントを保護する方向で検討中。
10月23日（木）	他の子を追いかけて公園の出口から出てしまう。	公園の出口付近まで遊びが続いてしまいその延長で追いかけて公園から出てしまう。	公園から帰る時は、遊びながら帰るのではなく、キックボードなら降りて、遊び道具はしまっておくようにする。
3月24日（火）	公園の出口から出てしまう。	突発的に走りだす事があることは、分かっていたが、手を繋いでいなかった。	飛び出したりすると危険な所では、身体的に制止可能な位置にスタッフがするようにする。

2025年度 事故

6月30日（月）	頭突きをして壁に穴が開く。	利用曜日ではない曜日であったことと週の初めということもあったと思いますし、連日の暑さのためイライラしていたのではないかな。	壁に衝撃を和らげるためのマット等の配置。体を冷やすためのアイスノンの準備。
----------	---------------	---	---------------------------------------

(4)会議、研修一覧

2025年度 研修

年間研修	テーマ	内容	場所
4月	行政手続きについて	障害者手帳について	
5月	支援プログラム	5領域について	さくら館内
6月	排泄について	排泄について	さくら館内
7月	虐待防止研修	虐待防止研修	東部市民センター
8月	夏休みの為、研修開催せず		
9月	アレルギーについて	食物アレルギーについて	さくら館内
10月	障害について	学習障害（LD）について	さくら館内
11月	療育について	療育について	さくら館内
12月	救命救急講習	救命救急講習	消防署
1月	感覚統合療法について	感覚統合療法について	さくら館内
2月	事業所交流会	グループワーク	福祉センター
3月	卒業後の進路について	就労、生活介護について	さくら館内

(5)その他(評価表)

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

回答率 在籍職員数 7 人、回答職員 6 人 回収率 85%

2025. 2～2026. 1

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			学習も遊びも同じ空間になってはいるが、ひとりひとりのスペースとしては確保できている
	2	職員の配置数は適切であるか	6			今の所、良いと思うが子どもの人数や場所・時間によりドライバーが必要かもです
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	1	スロープはあるが、身体的障害を考えると難しいと思う
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		アイデアは出ても、あまり建設的に話しがすすまないことも
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	コロナ等の影響で開催されていないと聞いています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計

公表：2025 年 3 月 10 日 アンケート期間： 2025 年 2 月 1 日～2026 年 1 月 31 日

事業所名 れすば～さくら館 保護者等数（児童数）10 名（13 名）回収数 10 割合 76%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9	1	0		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8	2	0	やや制作多めな印象	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	5		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	7		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4	0	発信しているのは知っているが、インスタをやっていないので見たことはない。前のおたよりの方が個人的には好き	
非常時	14	個人情報に十分注意しているか	10	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2	0		

7. 「れすば 24」概要

れすば 24 とは
利用目的として次のようなケースが考えられますが、しょうがいを持つ方やご家族が必要とする場合であれば特に理由は問いません。都度相談してください。
・ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプなどの公的な福祉サービスが利用できない場合 (障害福祉サービス契約外支援)
・冠婚葬祭に出席する時の付き添い、ご家族が冠婚葬祭などで留守の時の預かり
・レクリエーション活動
・移送サービス

「れすば 24」について

今年度も、支給時間外での支援利用の相談をいただき、数名の方に常用的にれすば24の支援をご利用いただきました。

また、緊急時の見守り依頼や相談もいただき、グループホームとも連携しながら、緊急対応をさせていただきました。中には長時間対応を相談・依頼いただくこともありましたが、スタッフの方々の協力もいただきながら、「困った時の24」をモットーに運営して来れたと思います。

福祉有償運送の利用につきましては、通院時の利用が若干数増加していますが、移動支援・行動援護の提供数の減少に伴い、有償運送件数も減少しています。

担当者

れすば24

	登録会員数		支援回数		支援時間		宿泊利用回数	
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
4月	37	34	13	15	31.75	29.5	0	0
5月	37	34	17	18	45.25	52.75	0	0
6月	37	34	15	10	33	21.5	0	0
7月	37	34	16	12	33	21.75	0	0
8月	37	34	17	15	48.25	63.5	0	0
9月	37	34	15	14	32.75	29.75	0	0
10月	37	34	17	12	27.75	32.25	0	0
11月	37	34	12	11	28	32	0	0
12月	37	34	19	16	43.5	40.25	0	0
1月	37	34	16	18	37.75	62	0	2
2月	37	35	17	15	39.3	32.25	0	0
3月	37	35	16	21	34.75	58	0	0
合計	444	410	190	177	435.05	475.5	0	2

福祉有償運送実績データ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
登録自動車数 ()は軽	公用車 (台)	9 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)
	マイカー (台)	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)
登録運転手 (人)		15	18	22	22	22	20	20
登録利用者数 ()は重複	身体障害	10 (9)	7 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (5)	5 (5)
	知的障害	42 (10)	40 (7)	37 (7)	39 (7)	39 (7)	37 (6)	34 (6)
	精神障害	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)
運送実績	実走行距離 (km)	12,698	11,094	12,413	10,514	12,183	12,546	8,846
	輸送回数 (回)	1,179	1,153	1,335	923	1,022	1,010	750
	輸送人員 (人)	1,179	1,153	1,335	923	1,022	1,010	750
	収受金額 (千円)	2,062	1,713	1,925	1,707	1,921	1,980	1,719
交通事故件数		0	0	0	0	0	0	0